大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　六月廿七日（水）

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 谷啓二郎

上海稅關 五分の附加稅 徵收を延期

上海稅關は六月廿三日附を以て政府の命令に依り五分の附加稅を明年六月三十日まで繼徵すべき旨告示した

百四十八億マルクの外債に喘ぐ獨逸（下）
モラ宣言後の英、米、佛の態度

ドイツ側では「今回の外貨拂ひ統制によつてドーズ、ヤング兩公債に基く權利並に特權は聊かも損はれるものではない」旨を國際決濟銀行への通告に於て聲明し、同時に前記せる如く賠償債權國が對獨貿易上の支拂分を勝手に差押へられては之亦ドイツにとつての一大事と云ふところから該通告の後段に於て「ドイツ品の輸出に對する强制的な制限は徒に事態を紛糾させるに過ぎない」と先手を打ち且つ「ドイツ政府は外貨拂復活につき關係諸國政府と協議する用意を有してゐる」と結び本問題に關する外交解決によるゆとりを示してゐる

最後にドイツ國立銀行總裁シャハト氏はモラトリアム宣言の直後ドイツが今回の支拂停止宣言をなすに至つた根本原因は一つに舊聯合各國のドイツに對する仕打ちの結果に外ならぬとて左の如く語つてゐる

×

ドイツ政府が今日外債全部に對するモラトリアムを宣言するに至つたのは正に舊聯合各國がドイツに對して執り來つた政策の必然結果で、債權諸國にとつては自業自得と云はなければならない、聯合各國はベルサイユ條約によつてドイツの對外投資を剝奪しその植民地を剝ぎとつて仕舞つた更に各國は故意に通貨の切下げを斷行しドイツ品の海外進出を阻止して仕舞つた、從つて今回のモラトリアム宣言に關してはその罪聯合各國にあり、ドイツ政府が非難さるべき理由は全くない

×

英、米、佛各國はドイツの全般的外債モラトリアム宣言に對し各自國の立場から、夫々抗議を提出し又は提出せんとしてゐるが未だ對獨共同政策を執るまでには進んでゐない模樣である

英國　チエンバレン英藏相は去る十五日下院に於て七月一日までにドイツとの間に公正なる解決の途が發見されない場合には英獨强制淸算制度を設けてドイツに支拂ふべきバランスを强制抑留する旨を聲明し、直ちにベルリン駐在イギリス大使をしてその旨ドイツ政府に通告せしめた

米國　十億四千五百萬弗のドイツ公社債を有するアメリカ市場にとつてドイツの外債モラは大問題である、而してアメリカは對獨貿易に於て輸出超過の狀態にある故に英國の如く强制淸算を設ける譯にもゆかぬ關係にある、米國々務省は去る十八日ベルリン駐箚米國大使に訓電し「今回ドイツ政府の決定せる外債モラトリアムは米國債權者に對し新に困難を與へる結果となる」旨ドイツ政府に通告せしめた米國政府の對獨態度は今後列國と共同政策に出づる事はあつても單獨でドイツに强硬な報復手段を執る事はあるまいと觀測されてゐる

佛國　ヅーメルグ首相はドイツの外債モラ宣言に對し直ちに緊急閣議を召集し、ドーズ、ヤング兩公債所有者の保護策に就て協議したが對策決定せず近く有効なる解決策を決定する事となつてゐるがその後の情報は未だ達してゐない

一九一三年を基調に 滿支貿易趨勢（上）

滿洲國の貿易は一九三二年五月初めて稅關獨立を宣言した爲め完全なる統計上の分離は一九三三年度より行はれてゐるものである、今茲に一九一三年に溯り中華民國稅關に於て計上してゐる數字を分離して滿洲國、中國の對外貿易を掲げ以後の推移を見るに次の諸表の如くである、（單位滿洲國百萬國幣圓、中華民國百萬元）

□輸入

	貿易額 滿洲國	貿易額 中國	百分比 滿洲國	百分比 中國	指數 滿洲國	指數 中國
一九一三	六四	四六二	一三	八七	100	100
一九三一	一五一	一,一九六	一一	八九	二三八	二六八
一九三三	三五五	一,一六九	二八	七二	五五五	二五三

□輸出

	貿易額 滿洲國	貿易額 中國	百分比 滿洲國	百分比 中國	指數 滿洲國	指數 中國
一九一三	六六	三三五	一七	八三	100	100
一九三一	三二六	五八四	三六	六四	四九九	一七四
一九三三	四三二	六一三	四一	五九	六三三	一八三

□輸出入合計

	貿易額 滿洲國	貿易額 中國	百分比 滿洲國	百分比 中國	指數 滿洲國	指數 中國
一九一三	一三〇	八〇七	一四	八六	100	100
一九三一	四七八	一,八八〇	二〇	八〇	三六二	二三〇
一九三三	六九八	一,七九一	三二	六八	七二一	二二一

即ち金爲替關係を度外視し、一九三一年中華民國對外貿易は過去に於ける最高レコードを示せし年なるが、過去十八年間に於ける中滿兩國貿易比率に於て、我國は輸入貿易上一二%より一一%、即ち一%微落し、輸出貿易上七%より三六%、即ち二九%を急增し輸出入總計に於て一四%より二〇%、卽ち六%の增加を示してゐる

然るに獨立直後、卽ち一九三三年を一九三一年に比すれば輸入比率一七%、輸出比率五%、輸出入合計一二%を增加し、中華民國貿易の不振に引換へ、我國の對外貿易上に於ける地位が如何に好轉しつゝあるかを物語り、兩國對外貿易の進步遲速は第一表に依り一目瞭然たるものがある

尙一九三三年度に於ける兩國貿易を人口當りに比較すれば中華民國の四元に對し我國三十圓にして、約七倍の經濟力を有する勘定となつて居る

最近三ケ年間に於て滿洲國は出超一億七千萬圓より入超九千二百萬圓となり、中華民國は入超七億一千萬元より入超七億五千萬元に增大され、一見我國貿易の逆調を想はしむるものであるが、滿洲國內に於ける鐵道、通路、其他各種建築工事材料の需要增加に依るものである

五月中に於る 新京金融經濟狀況（二）
朝鮮銀行新京支店調查

二、綿絲布市況

前月度閑散裡相場低迷の跡を受け月初銀の急落にて更に落調人氣益々不安なる小口現物商內を見たるのみなりしも六日頃より銀の反撥と北滿實需の擡頭により荷動き活潑となり期近綿絲及生地綿布に買萌し相場騰性に轉ぜり

然るに久しき買控への後とて忽にして現物拂底相場俄然急騰、加之銀の强調と糸布產地高のため人氣益硬化地場問屋筋の思惑を誘發し九月限迄相當の手合を見たり下旬に下り糸、生地綿布は買一服に一服加工綿布七月九月物の手當擡頭せるも產地高にて出合困難、手合は尙今後に期待すべきもの多し、一ケ月を通じ當地洋行筋手合約六千俵久し振りの商盛に終る

主要品名	月中最高相場	月中最低相場
一〇遼塔	一九八,〇〇	一八三,〇〇
一六遼塔	二三一,〇〇	二二四,〇〇
一六植月	二三三,〇〇	二二七,五〇
二〇仙桃	二五〇,〇〇	二三五,〇〇
三輪A		
大尺布	一一,七二	一一,四〇
軍人細布	一〇,五〇	一〇,〇〇
遼塔細布	九,四〇	八,九五
遼塔粗布	八,五〇	八,〇五

三、砂糖市況

麥粉同樣田舍筋の疲弊に一向買氣不起端午節を間近に控へ月末各地娘々廟の祭に相當の人出ありしにも不拘賣行期待外れとなり折柄の產地安に相場暴落し問屋筋は日蘭會商の成行を眺めて待機狀態となり至極閑散裡に經過したり

月中相場（單位一俵一三五斤入）

名柄	月初	月央	月末
J印	一九四,七〇錢	一九四,四〇錢	一九四,四〇錢
N印	一九,一〇	一八,九〇	一八,九〇
SH印	一九,一〇	一八,七〇	一八,七〇

當地への入荷（單位キロ）

前月	當月	前年同月
一〇四,一七	四八五,八	二一九,六

四、麥粉市況

米國小麥不作說濠洲に於ける相場上昇說に產地高となりし爲月初は多少の買氣を見たるも春耕最盛期にて農家金融多忙の爲田舍筋極度に需要減退し弱氣配に警戒嚴重にて買見送られ從つて相場亦不味產地に追隨せず鈍重裡に推移せしが月末に至るや北米合衆國加奈陀の大旱魃に小麥の疲害甚大加ふるに濠洲粉大口商談成立產地相場高騰等の入報に買氣一時に擡頭し商況活氣を呈せしも商內依然警戒氣味にて現物及期近物に限られ相場目先强含みにて越月せり

當地諸製粉工場は依然休止狀態にて當地への麥粉移輸入數量は左の如し

前月	當月	前年五月
一,四九七,二噸	二,〇一〇,〇噸	三九八,一〇八噸

月中相場（單位一袋につき圓）

銘柄	月初	月央	月末
寶船（一等粉）	二,六〇	二,六〇	二,六〇
辨天（二等粉）	二,四〇	二,四〇	二,四〇
綠節（三等粉）	二,一五	二,一五	二,一五

滿洲國の鹽政 完全に政府に統一
コロンバイル鹽の接收實現

從來中央銀行廣信公司に於て行つてゐた興安省コロンバイル地方の產鹽販賣權は新年度より確運署管內に

＝接收＝する方針であつたが、愈々之が實現を見る事となり、中銀從來の資產權利の引繼を年度內に了すべく目下財政部より湯川、劉の二屬官、確運署より高野監察科長、佐々木、楊二屬官、興安總署より正野調查科員等現地に出張じ、接收具體案は現地に於て決定する事となつた、而して之が接收は專賣主義に基いて引繼がれる譯であるが、興安總署に於て財源の一端として採鹽を行ひ確運署が一定の價格で之を收買し販賣を行ふ方針で差當りハイラルにか運署支署を設置し主要地に特許鹽店を設置する計畫であるが現地の實際狀況は未だ不明の地が多いので

＝急激＝なる改革は之を避け、取敢へず從來の狀態其儘で鹽政を行ひ逐次改善を期する方針である、興安總署に於ては直接採鹽の準備が出來る迄は在來の儘を踏襲し、確運署の販賣價格も現行を基準として大体その儘で行く模樣であるが、同地方は白銀諸爾鹽湖の採鹽で從來年產八千袋販賣量四千袋（一袋二百斤）といふ數字を示してゐる、之が接收の曉は販賣量の增加は確實と見られてゐるが、當局に於ては生產と消費の適合を行ひ全般的に鹽政の改善を期してゐる、從來廣信公司は蒙古王に對し一袋につき銀三匁の鹽租を出してゐたが、今後は興安總署に於て採鹽する事となるので爾後この

＝鹽租＝はなくなり收買價格に含められる事とならう、斯くて滿洲國の鹽政は完全に財政部に於て統一されることゝとなつた

ソ聯スパイ 檢擧さる

【ハルビン國通】既報、昨多ソ聯より日滿軍の機密調查を目的に滿洲國に潛入したソ聯ゲ、ペ、ウ、マクシモウイチ（二四）及びウラヂイミル（二三）の兩名は白系露西亞人と僞稱して日本軍〇〇〇隊の火夫として働き、密かに軍事秘密を調查してゐたが警戒嚴重の爲初期の目的を達せずマクシモウイチのみは密かに北鐵東部線經由貨物列車に便乘し、ソ聯本國歸還を企てたが途中軍事スパイの嫌疑で穆稜驛に於て日本官憲の爲逮捕ハルビンに押送され目下ハルビン憲兵隊で嚴重取調べ中であるが、マクシモウイチは大要左の如く自白した

我々の滿洲國潛入は北鐵をめぐる日滿兩國の軍事經濟政策の調查が目的である、北鐵讓渡交涉はソ聯軍備完了迄の日滿兩國懷柔策に過ぎぬ、ソ聯は極東の軍備も終了したので斷じて北鐵は手放さない、云云

ハ市獨副領事南下 自國領事と協議

【ハルビン國通】ハルビン駐在ドイツマルクス副領事は廿六日朝九時半發列車で南下したが、同氏の南下の目的は奉天、大連の各領事と對ソ滿問題につき種々協議するためで本國に於ける獨ソ間の空氣險惡を傳へられる折柄頗る注視されてゐる

繭保管施設 發動を承認

【東京國通】農林省は二十六日附富山縣に繭共同保管施設發動を承認した

ベルギーから 經濟視察に次々と來滿

【奉天國通】ベルギー特派大使タイス氏の來滿と前後して同國の對滿態度が著しく接近し來つたかに感ぜられる、即ち當地某方面の消息によればベルギーの極東不動產信託會社代表ギローム男は今秋十月視察の爲め來滿する事となつて居りまたタイス氏を頭取とするフラッセル銀行の上海出張所長ヘルス氏も近く經濟狀態を視察すべく近く來滿する事になつてゐると

駐奉米國總領事の後任

【奉天國通】駐奉アメリカ總領事アイヤース氏は今回本國國務省極東局に榮轉することとなり七月十五日奉天發歸國の途につくこととなつたが同氏の後任はまだ不明だが如何なる人物が後任となるかは米國の最近に於ける對極東政策と相俟つて極めて注目されてゐる

川上新潟縣土木部長 滿鮮視察

【大連國通】新潟縣土木部長川上國三郎氏は滿鐵の招聘を受け北鮮港灣視察のため廿六日「扶桑丸」で來連したが語る

新潟港を預つてある關係上滿鐵とは折衝が多く殊に河北、河南の兩船が日本海に廻り新潟、雄基間の定期航路が開けたので、北鮮の三港を視察して參考に資するため來ました、滿鐵と打合せの上新京經由北鮮に廻る心算です

ソ聯 海軍を充實

【モスクワ廿六日發國通】第一次第二次五ケ年計畫の大部分を赤軍の建設に置いてゐるソ聯政府はバルチツク艦隊の再建を目指し巡洋艦四、驅逐艦四、計八隻の軍艦建造に決しフランスに註文を發した

生命線を行く（二百十）
國友雄吉 作　荒川芳三郎 畫

一の不可思議

突然けたゝましい茂彦の泣き聲が、伸一の夢を破つてしまつた。

親子は、いつもの寢室に、枕を並べて睡つて居たのである。

何うしたのか、茂彦はムックリ起上ると、床の上に坐つて、兩手で眼を擦りながらオイ〳〵と聲を揚げて泣くのであつた。

「坊や、何したの？ 泣いちやいけないよ。サア寢んねするんだ」

と、宥して寢かせやうとしたけれど、茂彦は一層悲しさうに反つて聲を張り上げて泣くのであつた。

そして、その中から、とぎれとぎれに、

「姉ちゃん、〳〵」と、頻りに呼んではすゝり上げるのである。

「え。姉ちゃん――？ 姉ちゃんが、どうしたの――姉ちゃんつて何處の姉ちゃんなの――？」

茂彦の泣き聲はいくらか衰へた。

「勝代姉ちゃんが來たんだよう」

といつて、なにかを求めるやうな眼をする。

「勝代姉ちゃんの夢をみたのかい？」

「うゝん」と、茂彦はうなづく。

伸一は、强く胸を打たれた。

「坊やは、姉ちゃんの夢をみたのだね。赤坂の姉ちゃんが、今夜は坊やのところへ來たのだね」

「うゝん」

「お母ちゃんは來なかつたのかい」

「あゝ、お母ちゃん、來なかつたよ」

「さうかい。どうしてお母ちゃん來なかつたんだらうね」

茂彦も「それは不思議だ」といつたやうな顏をしたが、なんとも言はなかつた。

伸一は憮然として腕を拱いた。

彼は、よく市子の夢をみるのであつた。しかし、大方それは、いやな夢ばかりであつた。

それは血みどろの彼女であつたり、支那兵に捕はれて、頻りに茂彦の名を呼びつゞける彼女であつたりした。

ところが、不思議にも、彼が、市子の夢を見て、魘されでもする時だと、必ず、そばに寢てゐる茂彦も、同じやうに母を夢に見て、「お母ちゃん〳〵」といつては泣き出すのが例であつた。そしてみれば、もう、幾晩も〳〵繰返される一つの不可思議であつた。

さういふ事實に直面して、伸一は今更の如く肉親の力强さをシミ〳〵感じずには居られなかつた。

それだのに、今夜に限つて「お母ちゃん」と呼んで目を覺ましたのである。

だが實のところ伸一自身も、むしろ恐ろしいほどの不思議さを感じたのであつた。

なぜなれば？

それは茂彦ばかりで無く、伸一自身もまたちやうどいま勝代の夢をみてゐた處であつたからだ。

恰もそれは、ピツタリと響きの物に應ずるやうな不思議さであつた。

「坊や、どんな夢をみたの、言つてごらん。勝代姉ちゃんが、何をしたの？」

茂彦はもう横になつてゐたが、まだパチ〳〵と眼を瞬して居て、

「僕、姉ちゃんが好きだといつたの。だから抱つこしておくれといつたら、姉ちゃんは、お母ちゃんに叱られるから抱つこしないつて逃げて行くんだもの――僕、追かけて行つたけれど、駄目だつた」

「おまへ、そんなに勝代姉ちゃんが好きかね」

「うゝん、好きだよ」

「姉ちゃんが好きで――ぢやあ、お母ちゃんは――？」

茂彦は、眼をみはつて、

「お母ちゃん好きだよ。僕、お母ちゃんが一ばんに好きなんだけど、お母ちゃん、いつ來るの？ いくら待つても、ちつとも歸つて來ないぢやないの――」

茂彦の語尾は、消え入るやうに低かつた。

潤が、伸一の目頭を熱くした。

「市子はいつたい、いつになつたら歸つて來るのだらう。哀れな茂彦の心の滿たされる時が、果していつになつたら來るのだらう――」

日滿共同防衞上
國防費九百萬圓計上
皇帝御親臨の初の御前會議
けふ參議府臨時會議

康德元年度新豫算は廿七日午前十時臨時參議府會議に上程されたが本會議は宮内府内に於て開催され、畏くも康德皇帝陛下には御自ら議事を御總覽遊ばされた、執政御時代には參議府豫算會議に數度御臨席遊ばされた記録があるが帝政實施後は今次が御初めてゞあり、本豫算會議は滿洲國政治史上に燦然たる光輝を放つ光榮ある御前會議とされてゐる

產業開發に乘出す
新規事業費額
漸次國內行政諸設備も整ふ

康德元年度滿洲國新豫算は廿七日午前十時より宮內府內に於て開かれた、康德皇帝初の御前會議たる臨時參議府會議を通過し、直ちに御裁可の手續きを執り廿八日頃公布される運ひとなつたが、右査定豫算一億八千八百七十二萬五千五十八圓で、前年度より三千九百五十五萬五千八百八十圓の增加を示し、その內譯を見るに、帝政樹立せる滿洲國が國內行政諸設備と產業開發に向つて本格的に乘出せることを明瞭に物語つてゐる

即ち右豫算中注目すべき新規事業並にその豫算額を示せば左の如くである、尙括弧內は右に對する各部の要求豫算である

項目	通過額	要求額概算
△總務廳		
企劃局費	一九六、六六四	(一九〇、〇〇〇円)
外統計廳に要する費用	一四〇、七五七	(略)
大陸科學研究所費	一六六、六六四	
同　建築費	三〇〇、〇〇〇	(一、三五〇、〇〇〇)
△興安總署		
種羊場設置費	一五、五六七	
種羊に要する費用	二三八、〇〇〇	(五六〇、〇〇〇)
興安省基本調査費	三〇、〇〇〇	(四一、〇〇〇)
(以上十八年計畫本年度分)		
△民政部		
地方制度改善籌備費	一五八、九五七	(八〇〇、〇〇〇)
縣官吏の俸給國庫支辨費(縣公署費)	五、七〇八、九三七	(二、〇〇〇、〇〇〇)
警察官の充實費	二、一八六、〇〇〇	(三、一九〇、〇〇〇)
縣警察補助費及臨時行政補助費	三、〇〇〇、〇〇〇	(四、二七〇、〇〇〇)
土地豫備調査費	九五、〇〇〇	(三四〇、〇〇〇)
△外交部		
日本及ソ聯の領事館增設並新設費	一一六、〇〇〇	(略)
△財政部		
金融合作社設置費	六四七、七七二	(九一〇、〇〇〇)
同　貸付金	九〇〇、〇〇〇	(一、三〇〇、〇〇〇)
税務官吏養成費	三五、四四五	(一一〇、〇〇〇)
國際收支調査費	九、一〇五	(略)
△實業部		
森林事務所新設費	三九九、一五三	(七八〇、〇〇〇)
鑛業の監督所設置費	二三一、八一六	(五一〇、〇〇〇)
各種試驗所設置費	一七四、二九三	(五七〇、〇〇〇)
家畜防疫所設置費	六〇七、〇三一	(三〇〇、〇〇〇)
種羊所設置費	一九、八七五	(三〇、〇〇〇)
臨時產業調査費	八二三、五〇〇	(二、九二一、〇〇〇)
森林航空寫眞實施費	三〇〇、〇〇〇	(略)
大博覽會開催準備費	四一、〇〇〇	(六〇、〇〇〇)
△交通部		
河川浚渫費	一、〇三〇、九九〇	(略)
△司法部		
日人法官採用	五〇六、一六一	(一、〇八〇、〇〇〇)
四人待遇改善費	一〇〇、〇〇〇	(四九〇、〇〇〇)
法學校設立費	一三六、一四〇	(略)
登記法實施費	一九五、八三〇	(三二〇、〇〇〇)
監獄衞生實施費	二三一、一〇四	(九〇、〇〇〇)
囚人作業費	一五一、五七三	(略)
△文教部		
古跡古物各所記念物保存費	二九、二二六	(三二〇、〇〇〇)
教科書無料配布費	三三六、七〇〇	(三三〇、〇〇〇)
高等師範設立費	三〇七、七〇〇	(三三〇、〇〇〇)
實業專修學校設立費	八六、八六一	(一九〇、〇〇〇)
留學生費	一二九、四四三	(一四〇、〇〇〇)
清朝實錄編纂費	四〇、〇〇〇	(三一〇、〇〇〇)

新豫算可決
共同國防費分擔に就て
＝鄭國務總理談＝

鄭國務總理は二十七日午前宮內府で開會された參議府會議に政府と稱の康德元年度豫算の可決をみ衷心感喜にたへざる面もちで次の如く語る

滿洲國は進んで來年度より日本國の共同國防費を分擔することとし其の爲め康德元年度軍政部豫算に九百萬圓を計上せり

抑々日滿兩國は其の議定書に基き、共同して國家の防衞に當ることとなり其の爲め日本國は多數貴重の人命を犧牲に供せる外財政上も多大の負擔を負ひつつあり今や我國が往時に於ける過大なる軍費の重壓を免れ却つて國防の安全と治安の維持とを享有するに至れるは蓋し其の賜なり、又其の結果として我が財政も幸ひに日々健實を加へ早くも其の基礎略々確立し今や稍々負擔に堪ふるに至れり、玆に於て我國は右の如き兩國の關係と財政の現狀下とに鑑み進んで來年度より日本國の共同國防費を分擔し多少なりとも之に關する同國負擔の輕減に資すると共に我國の國防及治安の完全を圖らむとす、之れ全く我國の同國に對する肉親的衷情に出づるものにして必ずや同國も亦此の眞情に感じ欣然として之を受諾すべし

有吉公使と蔣介石
胸襟を開いて會談
双方日支親善の增進を强調

【南京發國通】廿六日早朝汪精衛氏と同車して南京に到着した有吉公使は午前十時有野書記官を帶同し中央軍官學校內に蔣介石氏を訪問し有野書記官の通譯にて餘人を交へず約半時間に亘り密談を遂げた右會見に於て有吉公使は日本の確乎たる對支方針を述べ國際的危機に直面せる今日の東洋に於ける平和確保の實に任ずる日支兩國は出來るだけ兩者の立場を諒解し合ひ協力して進む要あり帝國政府は日支兩國の協力實現には充分の用意がある旨を述べた有吉公使の見解に對し蔣介石氏も同感を表明し余も日支兩國が相携へて親善關係の維持促進を圖らねばならぬ事を痛感してゐるが從來各般の事情に妨げられ此目的を達成出來なかつたのは遺憾に堪えない、今後は出來る限り親善關係の增進を期したいと述べ互に腹藏ない意見の交換を遂げた

蔣が示現した
「日支間敦睦の本義」
今次意志表示の經緯

【南京發國通】蔣介石氏が二十六日有吉公使との會見に於て從來の不得要領主義を脱し公使の提言を卒直に容れ日本の不斷の援助と一層緊密なる提携を希望せるは劃期的事實としてその將派たると反將派たるを問はず南京政府要人間に多大の衝動を與へたが蔣氏が今日此の態度に出るに至つた經緯に就いて確聞するに先般入京以來連日に亘る要人會議の結果今日の中國を救ふは汪精衛氏等の主唱する日支敦睦の本義を實踐に移す外無しとの意見一致し蔣氏自身亦それを痛感してゐる際なので西南方面の反對を豫期しつゝ

大命再降下說
今後の推移重視さる
齋藤內閣此際大改造斷行か

【東京國通】大藏省事件に關する小山法相よりの眞相內報が行はれる事によつて久しきに亙る政府の靜觀態度が何等かの形に於いて＝清算＝される事は勿論であるが最近に至り大命再降下による改造居据り說が有力化しつゝある事は最も注目すべき事である而してその根據とするところは齋藤首相が靜觀を申合せ今日に及んで居るは何とかして綱紀問題によつて引責辭職したいと云ふ事でなく他の理由によつて進退を決せんとする意向より出たものと解されこれは再降下に對應する準備工作であるとも觀られる、一方最近に至り某樞密院顧問官が齋藤內閣は齋藤首相そのものが悪いのでなく組織が惡いのであるから今回の問題の機會に大改造を行ひ轉禍存福の途を講ずべきである、それには齋藤首相はその儘として自由に大改造を行はしめ而して强力なる擧國一致人材內閣を組織せしむべきであるとて宮中重臣方面に對し熱心に＝進言＝して居る事實があり、後繼內閣首班者の見透しが全く困難である事と共にこの大命再降下說は極めて重視すべきものと觀測されて居る

中間報告は
廿九日頃か
政局の危機漸次切迫す

【東京國通】問題の大藏省事件中間報告は檢察當局の取調べが順調に進めば廿九日の閣議頃には行はれるのではないかと觀られ政局の危機も漸次切迫を告げるに至つた

俄然重大性を帶びた
海軍豫備會商 (二)
瀬踏み工作として注目さる

日本政府の見解及び態度

英京ロンドンに開催された海軍豫備會商は明一九三五年の海軍會議を前提とする會商である、從つて次期海軍會議に對する見解は本豫備會商に對する見解に一致する、然らば日本政府は次期海軍會議に對し如何なる見解を抱き、如何なる建前からこれに臨まんとするものであるか、日本政府の見解に基けば一九三五年の海軍會議は過去の二大海軍會議たるワシントン、ロンドン會議の延長的會議と見做す見解には絕對反對であるとの建前をとつて居る、その理由はロンドン會議に於て若槻全權は「一九三五年の會議においては日本政府は何等の拘束力を受けず、自由の立場において商議す」との保留條件を附して居るからで、次期海軍會議に於いては過去の取極めその他一切の拘束力は之を全く認めない、何ものにも拘束されない新しい立場に立ち、そこから出發さるべきであるといふのが日本政府の次期海軍會議に對する見解である、しかして右の建前から軍縮の根本義たる國防安全感の公平を期することを原則とし且つ一九三一年以後の新情勢に適應せる公正にして合理的な主張を試み以て一九三六年以後數年間に亙る世界平和確保の新協定締結に導かんと言ふ點に日本政府の對會議方策の原理が藏されて居る

華府海軍條約 廢棄問題

華府海軍條約第二十三條によれば「條約を廢棄せんとする場合には其の有效期限たる一九三六年十二月三十一日の二年前即ち本年末迄に廢棄通告をなすべし」との規定がある、之がため英米兩國間には日本がこの條約廢棄行動に出ではせぬかと懸念して居る、今回の豫備會商が急據英國によつて提議された一因は日本の斯る行動を確定的と推斷した爲だとも傳へらて居る程である、然し日本政府の意向は日本から廢棄を通告する必要はないと云ふに大體意見が一致して居る、それは次期海軍會議において日本の期待を滿足せしめるに足る條約が締結されれば華府海軍條約もロンドン條約も自然消滅となるは必然であるからであつて、萬一不幸會議決裂の場合にはその際改めて廢棄方を通告すればよいと言ふにある

實業部種羊場
朝陽、ハイラルに設置決定
近く米產百頭を購入

實業部では明年度において羊の改良を行ふべく種羊場設置並に種羊購入費として新豫算に五十六萬圓を計上し、二十七日開會の參議府會議を通過して決定をみたが種羊場設置場所は熱河省朝陽、興安省海拉爾の二ケ所で種羊は米產のメリノー七百頭を近く產地に購入におもむくはずである

論爭二時間半
兩代表希望を詳述
廿六日の日蘭一般委員會

【東京國通】二十六日の一般委員會はランネフト氏と長岡代表の各自國文書の說明の後意見の交換に入つたが蘭印側が必要な措置をとる事は蘭政府の獨自且つ絕對的權限內にあり、他國と交涉の要はない、蘭印としては貿易のバランスをとる事は絕對必要で此の爲に對日輸出數量價格增加し一方輸入は蘭印からの輸出を考慮し國別割當制をとるのは巳むを得ない手段であると主張したに對し、日本側は公正な措置を要求し最惠國待遇を强調國別割當の差別待遇絕對反對を唱へ二時間半論爭後廿七日續行を約して散會した二十六日の會議は長岡代表は日本語で討論し長谷川副領事が英語に通譯した

一般委員會は兩國交換文書に就き意見の交換を爲し二十七日午前十時より討議續行に決定せり

重要會見後
蔣氏杭州へ

【南京廿六日發國通】二十六日中央軍官學校で有吉公使と重要會見を遂げた蔣介石氏は右會見後直ちに用意の飛行機で杭州に向つた

も遂に之れを表面に現はした次第で若し西南派に於て此上更に積極的反對態度に出で國內の統一を妨害するに於ては共匪討伐の餘力を馳つて立所に之れを彈壓するだけの決意と準備を藏するものと言はれてゐる

支那ソ聯に備へ
軍備擴張か

南京政府はソ聯邦の最近の蒙古、新疆方面の飛躍的進出振りに著しく脅威を感じ、對ソ準備として西北地方に兵工廠飛行機工場の設置を決して關係者を過般南京に招致し、種々打合せを遂げたと傳へられてゐる、なほ最近歸國した顏惠慶もモスコー歸任を回避してゐる模樣で、ソ支間關係の改善は今のところ見込なしとみられてゐる

日米不可侵條約に
ピ委員長反對
齋藤、ピツトマン兩氏會見內容

【ワシントン廿五日發國通】齋藤大使、ピツトマン外交委員長の會見に於ては日米兩國間の不可侵條約が會談の主題となり、兩氏は該條約締結につき隔意なき意見の交換を遂げた、日米兩國間に親善關係を維持する必要がある點については齋藤大使もピツトマン委員長も全く同感であつたが不可侵條約についてはピツトマン委員長は俄に同意し兼ねるとの見解を表明し

現存國際條約の履行が問題となつてゐる間は新條約締結の提案を考慮することは出來まいと卒直に所信を披瀝したと言はれる、ピツトマン委員長としては特に滿洲問題を念頭に置き、滿洲に於ける新事態が九ケ國條約に抵觸しないとの斷案が未だ下されて居ないとの見地から兩國間の不可侵條約に留保的立場を表明したものと解されるが、右ピツトマン氏の懸念に對し齋藤大使は帝國政府が滿洲に於て終始一貫門戶開放政策を忠實に實行して來たことを力說、具體的實例を擧げて帝國政府が毛頭現存國際條約を破棄する意圖を持つてゐない事を强調した

上海は
六十年來の酷暑

【上海廿六日發國通】この數日に亘り上海は近年になき酷暑に襲はれ、多數の日射病患者を出しつゝあるが、當地天文臺では廿三日最高溫度一〇九度八分は同天文臺開設六十年來の記錄中最高溫度であると公表した

コムミユニケ
發表さる

【バタビア二十六日發國通】二十六日の一般委員會後左のコムミユニケが發表された

矢吹電話局
庶務課長
奉天に榮轉

新京中央電話局庶務課長矢吹誠明氏は今回奉天中央電話局庶務課長に榮轉することとなり七月二日ごろ任地に赴く豫定である、なほ後任は大連中央電話局庶務課次席佐藤壽太郎氏で來月早々着任のはづ

羅子溝の
危機去る

【吉林國通】匪軍數百の包圍狀態に陷り危機迫るかに見られた汪淸縣羅子溝は彈藥の補給成つた同地駐屯の吉林軍が二十四日來俄然積極的攻勢に轉向、連日隨所に敵匪を擊退しつゝあり、數日中には完全に匪影を斷つべく樂觀されるに至つた

熱河蒙古王旗
間指導連絡に
王旗聯合會設立

熱河蒙古五十四旗六十萬の蒙古民族は滿洲國建國の五族の一にして古き歷史と傳說を有するに拘らず現在蒙古民族に對する思想的指導連絡に觀るべきもののなきを遺憾とし、今回協和會を中心に省公署並に各縣及び日本軍との協力の下に各旗首腦者と協議の結果熱烈なる支持を得、協和會熱河蒙古王旗聯合會設立準備會を設けることに一致し近く聯合發會式を擧げる運ひに至つた

滿ソ水路協定
あす開催

滿ソ水路協定會議は二十八日大黑河で開催される筈である

守島書記官
廿九日來京

守島外務省書記官は諸般の事務打合せのため二十九日朝來京、歸途山海關經由天津、北京に滯在後青島を經て歸着の豫定である

滿鐵辭令

新京販賣事務所事務主任 事務員 吉田得美
新京販賣事務所長參事久松治不在中代理を命ず
臨傭 石田ツモ
同 松本テルエ
甲種傭員を命ず新京醫院看護婦を命ず

その日〳〵

□
政變々々と騷いでゐたらなる程政變、大命再降下說有力化呵々
□
延びゆく滿洲國、豫算の示すがごとスクスクと
□
西公園の入場料試驗的徵收に決定、苦力と醉漢と何れかいづれぞ
□
酷熱の夏訪れ、各學校夏季娛樂のプロ發表
□
徵兵檢査の結果、滿洲一成績の惡い新京ッ兒を根本的にため直すはこの秋

人事往來

▲江川四郎氏(首都警察廳外事課長)二十六日午後四時三十分發大連へ
▲永井總領事(間島總領事館)二十六日午後五時發吉林へ
▲水田主計課長(朝鮮總督府)二十六日午後七後三十分着奉天から
▲松村少將(步兵第〇〇團長)二十七日午前七時着哈市から
▲古川淸一氏(關東軍法務部法務官)同上奉天から
▲渡邊獸醫監(關東軍獸醫部長)二十六日午前九時發奉天へ
▲加藤保安主任(新京署)同上旅順へ

團体

▲鐵嶺家政女學生三十二名二十七日午前六時來京同日午後八時三十分發哈市へ
▲全鐵道省柔道遠征軍三十五名二十八日午前七時歸京同日午前十一時三十分發南行
▲四平街風林小學生二十七名二十七日午前九時五十分發南行
▲愛媛縣兵事會團八名二十八日午後三時二十五分哈市から來京北滿旅館投宿二十九日午前六時三十分發吉林へ
▲帝大農業部教員養成所員二十五名二十九日午前六時來京松屋旅館投宿三十日午前八時三十分發哈市へ

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 [illegible]
同 遠限 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナゴンダ株 [illegible]

▲米棉
現物 [illegible]
七月限 [illegible]
九月限 [illegible]
十二月限 [illegible]
一月限 [illegible]
三月限 [illegible]
五月限 [illegible]

▲上海標金
昨日引 [illegible]
高値 [illegible]
安値 [illegible]
本寄 [illegible]
步値 [illegible]

▲上海日本向
賣値 [illegible]
買値 [illegible]
賣値 [illegible]
買値 [illegible]
賣値 [illegible]
買値 [illegible]

▲上海倫敦向 [illegible]
▲上海紐育向 [illegible]

▲大連金鈔票
現物 [illegible]
六月廿八日限 [illegible]
七月十三日限 [illegible]
寄付 [illegible]
步値 [illegible]

▲大連上海向
引止 [illegible]
高値 [illegible]
安値 [illegible]
出來高 [illegible]

▲大連煙台向 [illegible]

各地市場

▲阪神日米爲替
第一回 [illegible]

▲大阪株式
大株新 [illegible]
大紡新 [illegible]
鐘紡新 [illegible]
同 新 [illegible]

▲同 短期 [illegible]

▲大連株式
大連新 [illegible]
鐘新 [illegible]
東新 [illegible]
日產 [illegible]

▲大阪三品
五品 [illegible]
先限 [illegible]
新 [illegible]

▲大阪棉花
當限 [illegible]
七月限 [illegible]
八月限 [illegible]
九月限 [illegible]
十月限 [illegible]
十一月限 [illegible]
先限 [illegible]

▲橫濱生糸
當限 [illegible]
先限 [illegible]

▲大阪期米
現物 [illegible]
當限 [illegible]
先限 [illegible]

▲仁川期米
當限 [illegible]
中限 [illegible]
先限 [illegible]

▲神戶豆粕
當限 [illegible]
中限 [illegible]
先限 未着

▲大連特產
六月限 [illegible]
七月限 [illegible]
◉麻袋 寄引
◉大豆 袋込 [illegible]
六月限 [illegible]
七月限 [illegible]
八月限 [illegible]
九月限 [illegible]
十月限 [illegible]
◉豆粕 現物 [illegible]
◉豆油 九月限 [illegible]
◉高粱 現物 [illegible]
八月限 [illegible]
九月限 [illegible]
十月限 [illegible]

新京市況

◉錢鈔
鈔票對金票 [illegible]
現大洋對金票 [illegible]
國幣對金票 [illegible]
現大洋對鈔票 [illegible]
錢鈔先物 寄付 引値
七月十三日限 [illegible]
鈔票對金票 [illegible]
出來高 一千圓 同
七月廿八日限 寄付 引値
鈔票對金票 [illegible]
出來高 一萬四千圓

忠靈塔建設寄附金 あと三日で締切り
本社扱五千八百廿七圓卅二錢
鮮銀、正金、東拓から各一萬圓

滿洲建國の礎いけにえとして地下永劫に眠る幾多の勇魂に注がれる浄財は今月末の締切を控へてさきに三井、三菱中央銀行から各三萬圓について各方面からの熱誠な寄附によつて目覺しい好成績を擧げてゐるが、またも二十六日關東軍司令部內忠靈顯彰會に朝鮮銀行、正金銀行、東洋拓殖株式會社からそれぞれ一萬圓の寄附申込みがあつた、本社では忠靈塔建設計畫發表と同時に忠靈塔建設基金をひろく一般から募集してゐるが、いよいよ本月末をもつて受附期限を終了することになつた、現在まで本社扱累計は五千八百廿七圓三十二錢といふ異常な好結果を示してゐるが、なほ余す三日に締切も迫つたので一般市民の最後の心からの援助を希望して止まない

けふも本社へ 二人

二十七日正午までに本社で受託した忠靈塔寄附金は室町小學校前の井上惣三郎氏金十圓永樂町三丁目新京工作所主藤岡織太郎氏の金十圓、小計二十圓、累計五千八百二十七圓三十二錢、尚昨報忠靈塔寄附者名中金剛寺光智玉とあるは利光智玉、東本願寺山角頼哲とあるは畠山頼哲、西本願寺光岡慈照とあるは光岡慈照、大正寺海野俊嚴とあるは海野俊巖の誤り

腹二ツに轢斷され メーファーズ
北鐵到着ホーム魔の場所

二十七日午前七時新京驛到着北鐵南部線第十一旅客列車が同驛到着ホームに停車三十五秒前中央通り通濟公司傭へ荷物運搬夫(赤帽)于洪濤(三八)は最後から三輛目の客車に荷物取り出しのため飛び乘りをし間違つてホームに滑り落ち列車の通過を腰をおろした儘待つてゐたが、列車が通過したものと思ひ違ひした同人が立ち上つた際最後の車輛に觸れて線路の中に落ち込み腹部を眞二ツに切斷された、無意識的にピンと飛び上つた于は「手と足をやられた病院に連れて行つてくれ」と口走つたそばにゐ合せた同僚が「腹を眞二ツにやられてゐるから駄目だ」といふや「メイファーズ」と答へて息を引きとつたと同人は原籍奉天省大石橋埠住所市內日出町二丁目十七番地家には妻女一人あり、昭和八年六月通濟公司に雇れ現在に至る、なほこの慘事と同場所で一昨年夏同じ樣に赤帽が即死したことあり魔の場所とされてゐる

一日から 時間變更 奉山、奉吉、營口 西安線

奉山線、奉吉線、營口線、北票線及び西安線では七月一日から列車運轉時刻を一部改正する

學生、生徒の 夏期乘車賃 割引き

暑中休暇季節に入つて來滿、國線に乘車する日本內地及び朝鮮の學校生徒に對して旅客運賃の割引を鐵路局で行ふ、なほそのためには滿鐵社線に有効の割引證を收受して所定の取扱ひをする、但し滿鐵社線有効證を所持しない學生に對しては身分證明書によつて學生たることの確認したる者に限つて本人自署認印ある身分證明書寫を提出して割引を求むること

一日から七日まで 狂犬豫防週間
野犬狩りも行ふ

新京署衞生係並に滿鐵衞生隊が共同で七月一日から七日までを狂犬豫防週間として狂犬豫防の宣傳ビラ一萬枚を全市に撒布すると同時に宣傳ポスター五百枚を全市の要所に吊し大々的に狂犬の豫防に努めることになつたなほこの期間中野犬驅除畜犬の豫防注射、畜犬の放飼ひを取締ると

南新京驛 停車一往復 增し要求

國都建設諸事業の勃興によるこれ等事業の從事工人並びに關係者及び一般市民の乘降旅客の激增して來た南新京驛では現在停車する旅客列車は僅かに上り七個列車下り七個列車があるのみでこれでは上り第二十二列車(午前九時五十九分)から第三百五十列車(午後二時十分)まで約四時間又下りは第三百五十一列車(午後零時三十七分)から第十九列車(午後四時三十五分)まで約四時間に亘つて同驛に停車する列車がなく常に乘降する旅客は非常に不便を感じてゐるのでこれが緩和策として新京鐵道事務所は鐵道部に對して上り第二十列車(午前十一時三十分新京發)下り第十七列車(午後一時五十五分新京着)の兩列車を南新京驛に三十秒乃至一分間停車方を申請した

拐帶店員逮捕

富士町二丁目十四番地京津電氣商會、店員山口縣厚狹郡富海村江川傳助(三三)は同店の得意先から六百圓の集金を横領し逃走中のところ二十六日午後十一時ごろ犯人が富士町二丁目飲食店千里十里に立廻つたところを新京署岩田刑事が發見逮捕した

新庭球コート 來月十日完成
夫迄は高女を使用

地方事務所裏の滿鐵庭球コートが消費組合の新築着手によつて、二十五日から無くなつたゝめ、當分練習も不可能になつたが地方事務所鯉沼地方係長ら盡力の結果新コート完成まで當分新京高等女學校コートを毎日午後四時から借り受けることゝなつた、なほ西公園內に新設中のコートは三面とも來る七月十日までに完成の見込である

新京海友會へ 海相の謝狀

新京海友會では本春水雷艇友鶴遭難當時直ちに見舞電を送り又弔慰金を贈つた處、去る二十一日附で別項の通り大角海相から禮狀が到着したと

謹啓這般水雷艇友鶴不慮の遭難に際しては御懇篤なる御見舞を辱くし且又特に義捐として金員御寄贈相成御芳志の程洵に感謝の至りに不堪候、就ては右金員は御寄贈の趣旨に副ふ樣適當に處理可致候條御諒承相成度候右不取敢書中御挨拶迄如斯御座候　敬具

昭和九年六月二十一日　海軍大臣　大角岑生

新京海友會御中

殉職兩大尉告別式 廿八日午後四時卅分
新京高女講堂で行はれる

二十六日午前新京飛行場で飛行機事故に由り遭難、あたら寬城子の花と散つた陸軍航空中尉從七位勳六等糸田貞吉、陸軍航空兵中尉從七位勳五等西村浩の兩氏は生前の勳功に因り即日、大尉に陞進、遺骸は茶毘に附され、遺骨は二十七日市內祝町太子堂に安置し戰友其他有志が通夜を行ひ名殘を惜み二十八日午後四時半から新京高等女學校講堂で佛式により告別式が擧行される因に二十七日夜太子堂に於ける通夜では、九時を期し讀經回向が行はれる

武部教育會理事 歸國に際し 語る

滿洲帝國教育會發會式參列のため日本代表として來京した帝國教育會理事武部欽一(元文部省普通學務局長)同評議員阿部宗孝(東京府立第六中學校々長)の兩氏は無事大任を果して廿六日午後四時三十分發列車で歸國の途に就いたが、驛頭武部氏に感想を叩くと、溫顏に微笑をたゝえながら

滿洲は今度が初めてです、來て一番先に感じた事は、皆さんの御努力により、意外に諸般の事業が殆んど完成に近付きつゝあるといふ事です殊に教育機關の整備充實が思つたより良く進捗してゐる事は驚嘆に堪えません、之は一重に西山さん(文教部總務司長)の御努力が與つて力あるものと信じます、今後とも皆さんが一致協力して此の滿洲國をより良く守り育てゝゆかれんことを祈つて止まない次第であります

と語つた、尚同氏は朝鮮經由歸國の豫定である

滿鐵學務課計畫の 本年夏季聚落
初等學校は七月十四日から 中等校は廿三日から

滿鐵學務課では今年より小學校の夏季聚落を開く事となつたが初めての試みとして大いにその成果を期待されてゐる

△小學校海濱聚落(本年最初)

一、本年より後牧場子海岸にて(夏家河子の西方一里)

二、會社設立各小學校尋常五年以上二百名宛五期を左記の期に行ふ

第一期　自七月十四日　至七月十七日
第二期　自七月十九日　至七月廿六日
第三期　自七月廿八日　至八月　四日
第四期　自八月　六日　至八月十三日
第五期　自八月十五日　至八月廿二日

第一期參加校　新京室町、范家、新京西廣場、ハルピン、吉林
第二期　奉天春日、奉天平安、鐵嶺、開原、昌圖、四平街、鄭家屯
第三期　奉天千代田、奉天彌生、奉天加茂、奉天平安
第四期　鞍山富士、鞍山大宮、撫順東公園、撫順永安、撫順新屯、撫順東
第五期　瓦房店　大石橋、營口海城、遼陽、本溪湖、安東朝日、安東大和

△小學校溫泉(熊岳城)聚落

第一期　自七月十六日　至七月三十日
第二期　自七月卅一日　至八月十四日

十五日宛二回

第一期參加兒童　奉天彌生、加茂、敷島、平安、鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、新京室町、西廣場、吉林、ハルビン
第二期參加兒童　瓦房店、大石橋、鞍山富士、鞍山大宮、遼陽、蘇家屯、奉天春日、奉天千代田、安東朝日、撫順東公園、撫順永安、撫順東七條

各百名宛參加

△小學校山間(通山關)聚落

第一期　自七月廿一日　至七月三十日
第二期　自八月　一日　至八月十八日

△中等學校海水浴

鞍山中學、奉天中學、撫順中學
夏家河子にてキャンプ、百五十名、七月廿三日より八月一日迄
新京中學　柳樹屯海岸にて二百十名
鞍山高女、奉天高女、新京高女、撫順高女
夏家河子水明館宿泊、三百名、七月十一日より同廿二日迄

上水の使用も 素晴しい躍進
事變前に較べ約二倍 地方事務所調べ

新京地方事務所水道係では各年度末現在の給水概況について調査中であつたが、附屬地人口の增加とゝもにその給水狀態も超飛躍の過程をたどりつゝあること數字の示すとほりで、その內容は次の通りである

	附屬地人口	給水戶數
大正十二	二三、三〇四	二、〇六七
十三	二四、八三七	二、〇七八
十四	二七、四五四	二、一三三
昭和一	一八、七〇三	二、二三三
二	三一、二四五	二、二四六
三	三二、七四六	二、三〇五
四	三三、八八六	三二、八八六
五	三五、九六二	三五、九六二
六	三三、二八四	三三、二八四
七	四三、六七七	四三、六七七
八	五四、八七二	五四、八七二

なほ水道栓數は大正十二年二一五五が昭和六年二、九五二、同七年三、七七一、更に同八年四、二〇五、配水量もまた同樣の急進振りで大正十二年八四一、一五八が昭和八年一六六八、七六五である、これをパーセンテージに見ると人口の增加率は事變後の昭和六年を境として急に數倍し、昭和八年度では二十二%、また水道栓數增加率は廿七、五%となつてゐる因に附屬地人口中には軍籍關係、工事現場苦力、無屆居住者その他一時的滯在者を包含せざるにつきこれらを合算する時は八年度末六萬乃至六萬五千を突破するものと見られてゐる

手の早い 夜店の客

二十六日午後十一時三十分ごろ日之出町三丁目十四番地果物商鈴木國一氏が三笠町三丁目十六番地先で夜店を開いてゐると三十七歳前後の滿人男が十圓紙幣を出し果物(ビワ櫻桃)一圓十錢を買ひ鈴木氏が包んでゐる內に前記男はすばやく十圓紙幣を一圓に取かへ釣錢八圓九十錢を所持して逃走した、屆出に接し新京署で犯人搜査中である

大連勝つ 對早大野球 6A—5

【大連國通】早大對大連實業の野球戰は廿六日午後四時廿分より實業球場に於て山口(球)山下、長澤(壘)三氏審判の下に早大先攻にて開始、六A對五で實業勝つ、

△兩軍バッテリー
早大　若原、桑原
實業　岩瀨、渡邊

內藤湖南博士 逝く

【東京國通】長らく病氣療養中であつた湖南內藤虎次郎博士は二十六日午後一時五分逝去した、行年六九、氏は支那學者として第一人者で四庫全書の化身と云つていゝ程支那學の智識に豐富であつた、因に氏の現住所は京都府相樂郡瓶村である

鄭總理 憮然として語る

內藤湖南博士逝去の報を齎して故博士の雅友たる鄭國務總理を訪へば其の逝去を深く惜しみつゝ白井秘書官を通じ憮然として語る

內藤博士とは長年の友人で今年日本訪問に際しても京都の寓居を訪れ病中ながら割合元氣な姿に接し長時間に亘つて盡きぬ談話を交はして歸つて來た所だつたのに突然長逝の報に接し大いに驚いた次第である、申すまでも無く故博士は支那學界の權威であつた我が滿洲國文教の事についても特に深い關心を持たれる誠に得難い斯界の權威であつた、將來も公私ともに何彼と教示を仰ぎたいと思つてゐたのに實に殘念である云々

なほ鄭總理は今朝登廳と同時に遺族宛懇篤な弔電を發し係員に供物の手配方を命ずる所があつた

花ごよみ

精養軒のユキ子奉天銀鈴からの輸入女給だけにサービスにソツがない、なんでも銀鈴を蹴つて精養軒へ現れるに至つた動機は誰も彼も二號になつてゆくのに憤慨「わたしきつと一號になつてみせるワ」と一念發起北進したとか▲銀鈴といへば東二條の銀麗にランチといふ女給あり、カフエーマン稱して新京ナンバーワンといふ決して「花ごよみ」子がいふのではない、女給さん達御安心を」▲つひ先達開業したバーマスコット、淸新さとあかぬけしたサービスに仲々評判がよいが「こゝの女給さん達がみんな獨り者ならネ」とあるファンの述懷▲新京女給軍で一番のノッポは誰か、本欄で決定したいと思ひます例の口紅の町代、バー上海のマユミ、マルセーユのエミ子の三人をまづ第一候補にあげておく、中原に鹿を追ふ勇者出でよ

街の日記

路傍で ビール詐欺

二十七日午前八時卅分ごろ日本橋通二十九番地西村洋行へ電話で『こちらは赤木洋行ですがビール箱を羽衣町入口まで届けて下さい』とあつたので同家店員久保田稔(二六)君が運搬すると卅二歳前後の內地人男が、御苦勞でしたといひながら赤木洋行の假受領證を渡し代金は店の方に取りに行つてくれとてビールを客馬車に積み立去つたが店員が前記受領證を所持し赤木洋行へ代金請求に行くと同家ではビールを註文したことはなく詐欺にかゝつたことを知り新京署に屆出た

回教伊斯蘭協會 遷墓慰靈會

新京の都市計畫圈內になつて移葬のやむなきに至つた回教徒の墳墓は當局から代りの土地を與へられ滯りなく遷葬を終つたので新京伊斯蘭協會の主催で來る七月一日午前十時を期し新京清眞寺で盛大な追悼會を擧行することゝなつた

滿鐵各支部對抗 柔道試合

滿鐵運動會武術部では二十九日午前九時から奉天道場で各支部對抗柔道團體試合を行ふことになつたので、新京支部からも選手五名、同補欠二名(三段以下內有段者三名以內)が出場、山本、松岡正副總裁盃を獲得すべく奮鬪することになつた

加藤、原兩保安 主任旅順へ

加藤新京署保安主任及び原新京總領事館警察署保安主任は關東廳で開かれる保安主任會議に出席のため二十七日午前九時發鳩で旅順に赴いた

榎田氏遺骨 內地へ

市內三笠町一丁目榎田タネ未亡人は亡夫元吉氏の遺骨を郷里鹿兒島市の菩提寺に安葬のため二十七日午前九時發鳩で在郷軍人會員、聯合婦人會員その他多數の見送をうけ出發した

大原議長內地へ

大原新京地方委員議長は二十六日午後十時出發の豫定であつたが都合により二十七日午前九時發鳩で內地に向け出發した

盜難 居

▲新京競馬場內大河內富江さんは二十六日午後三時四十分ごろ市場內で蟇口(在中現金二十五圓)を何者かに竊取された

けふの銀相場

鈔票對金票	一二[illegible]錢
現大洋對金票	一二三円七八錢
國幣對金票	一〇九円五八錢
現大洋對鈔票	九六円七錢

忠靈塔寄附者 (四九)
新京日日新聞社扱

▼金十圓市內室町小學校前井上惣三郎▼金十圓市內永樂町三丁目藤岡織太郎、小計金二十圓、累計五千八百二十七圓三十二錢

忠靈塔建設基金募集

要項

寄附金額　隨意
受附期限　六月三十日限り
受附場所　市內永樂町本社
寄附者芳名　本紙上に發表
寄附金處理方法　關東軍司令部內忠靈顯彰會に引繼ぐ

新京日日新聞社

新版江戸八景

（禁上映上演）

行友李風氏外四氏作　鏡銀平他二氏畫

江戸役者と御殿女中　八五

行友李風

「なア、半六さん——」

七三郎はつゞけて。

「それには、今が丁度幸ひ——私から改めて成田屋さんへ歸參の口をきゝませう。——それを土産に、お前さんも、もとの中村座へ歸んなすつて、いまが大事な修業盛り。——藝道大事、師匠大切と心掛けて、成田屋さんの引立てをうけ、立派な達者になられるやうしなすつた方がよいとおもふのだがどうでせう——」

七三郎が、かういふのは、別に深い考へがあるのではないが、疑心暗鬼で半六には、何かあるやうにおもへる。

……はゝあん、七三郎め。——大部一件で、俺を一座に置いては先々もこまるところから、いまのうちに、團十郎へ追返してしまはうとしてゐるのだな。

と考へました。

が、さう思ふ心は色にも出さずホロ〳〵涙を流して。

「はい。……御親切にさう仰しやつていたゞきまして、半六、申し上る言葉もございません。——これまで大恩うけながら、何のお酬がへしらしいことも出來ませんのに、心苦しうございますが、では、そのやうにお願ひいたします……」

「なに、その仁義には及びません。——が、それについては、わたしの口から、ちと、出すぎた言葉かもしれないが、どうも、お師匠さんは、短氣で、事を仕損じなさる。それに、酒の癖が、甚だよくないやうだ。人氣稼業の藝人に、この二つは、出世のさまたげともなるもの、……成田屋さんが、お師匠さんに、勘当を出しなすつたのも、この二つの癖を直して

やらうといふ考へからだ。——成田屋さんへ歸つた上は、きつとこの二つを慎んでおくんなさい」

半六。

——なにを云つてやがる。

と、腹の中で舌出ししながら。

「御教訓のほど、しみ〴〵と、胸にこたへました。この上は、性根をいれかへ、行ひをつゝしみ、きつと、立派な達物になつてごらんにいれます——」

「あゝ、それでこそ、わたしもお世話した甲斐があるといふもの……また、成田屋さんへ、詫言の口もきゝよいといふものです——」

「かういふ話は早いがよいが、この二三日、ちと、いそがしいから、いづれ、そのうち、お前さんのところへ使ひをやりませう」

と、その日は、別れて——四五日してから、七三郎のところから迎へがある。

七三郎のところへゆくと、すぐ自身に、半六をつれてやつて來たのが團十郎の家。

半六は、前にもいつた如く、もと團十郎の弟子で、且、遠縁にあたるものでしたが、賭場の事から、半六が悪事を働いた爲、破門の上江戸の三座おかまひをいひ渡した。

その時、尾張家の奥女中お萬が中にはいり、團十郎にかけあつて一時、七三郎が半六の身柄をあづかつてゐたもの。

いま、七三郎が、改まつて團十郎に、半六の歸參を願ふと、團十郎もいゝとはいへない。

「ほかならぬお師匠さんのお言葉がかゝれば、よろこんで歸參を許しませう——」

と、こゝで、七三郎が仲人で、あらためて團十郎、半六の間に、師弟のかための盃が出來た。

○◆○

木曜　庚午　先負　建　角宿　六月廿八日　舊五月十七日

●一白の人　新事の計畫或は擴張共に有終の美を全ふす　乙と丙と丑が吉
●二黒の人　萬事の調子狂ひて意の如く行はれず敗あり　丁と申が寅が吉
●三碧の人　誘惑の渦に巻かれぬ様無事に脱れ出づべし　乙と丁と乾が吉
●四緑の人　緻密なる策略を樹て實行に着手せらるべし　乙と丙と辛が吉
●五黄の人　氣運の衰退甚しかるべく萬事進むは凶なり　巽と壬と寅が吉
●六白の人　煩悶を増し幽鬱に閉ぢられ不安に暮るべし　辛と癸と寅が吉
●七赤の人　鈍刀を以て鐵を斷たんとする如く望みなし　甲と乙と壬が吉
●九白の人　多離誘發の日定業を守るに如かず病厄注意　坤と申と寅が吉
●九紫の人　治に居て亂を忘れず緊張して事に當るが吉　庚と亥と壬が吉

朝刊
本紙夕刊共八頁
本紙一部五錢 一ヶ月一圓
定價 前納一ヶ月十五錢
廣告料 普通一行 一圓三十錢
特別 二圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

民間滿洲進出の分野決る

一般的な企業は民間の進出を歡迎

公益、根本的事業は特別の措置

滿洲國政府公表

張實業部大臣は二十七日午後二時滿洲國政府の名をもつて一般企業に關し次の聲明を發表した　政府は客年三月一日經濟建設に關する聲明書を發表し以て我が滿洲國の經濟建設に關する大体の方針を示す所ありたるが右聲明書に於ては滿洲國に於ける各般の事業中一般民間の經營に委せらるるものの範圍必ずしも明かならず民間事業家に對し稍々趣旨徹底を缺きたるやに觀測せられたるも、既に政府に於ては關係方面の意嚮をも徵し慎重審議を重ねたる結果國防上重要なる產業公共公益的事業及一般產業の根本基礎たる產業即ち交通通信、鐵鋼、輕金屬、金、石炭、石油、自動車、硫安、「ソーダ」採木等の事業に付ては特別の措置を講ずることとせるが、其の他の一般の企業に付ては事業の性質に應じ時に或種の行政的統制を加ふることあるべきも大体廣く民間の進出經營を歡迎するものなり

外資の會社設立許可

近く勅令を以て公布

產業開發著しく進展を見ん

幣制統一の大事業も今や完成の域に達し中銀貨幣政策の運用に依る幣價安定と滿洲國財政の堅實性は相俟つて國外資本家の滿洲乘出氣運に愈よ拍車を加へて來たが滿洲國政府に於ては此の情勢に應じ迅速なる產業の開發を計る爲め今回公司法の一部改正を行ひ、特に外國通貨による會社設立を一般に許可する事となり、右法令案が二十五日の國務院會議に附議、次いで參議府の諮詢を經て近く勅令を以て公布される事となつた、即ち國內に設立される會社の資本は國幣を以て之を定むる原則であつたが、かくては外國人の投資に種々不便で外資の流入を阻害する事多きに鑑み「會社の資本は實業部大臣の認可を受け外國の通貨を以て之を定むる事を得、但し銀行業、保險業、信託業、無盡業及び交易業を目的とする會社は此限りに非ず」と云ふ事になり、かくて種々不便なりし外國資本流入の障害は除去され、日滿經濟ブロックの資本的結成も大いに促進さるべく滿洲國の建設開發は今後一段の進展を見るものと期待さる

密輸取締に關する

具体的協議

全滿稅關監視科長會議開催

財政部に於ては關稅收入の確保を期して密輸取締を嚴にし揖私網を整備して其徹底的淸掃に腐心してゐるが、廿六、七の兩日に亘り全滿八稅關の監視科長會議を部內に於て開催し種々具體的に諮問協議を遂げた右會議に於ける諮問協議事項は
一、密輸狀況及びその取締實狀並に之が改善
一、犯則の調查處分に關する取扱實狀並にその改善
一、國境及海邊警察隊鹽務揖私隊其他の警備機關と稅關との連絡實狀並に其改善
一、揖私賞與を廢止したる場合に於ける密輸取締の奬勵方法に關する件
一、職員の素行監察方法に關する件
一、監視科員の訓練及指導方法に關する件
等の項目に亘り具體的に協議され午後四時會議終了した

日本側の抗議で

ノールウエイ輸入稅引上中止

【東京國通】ノールウエイ公使白鳥敏夫氏發外務省への公電によれば、同國政府の日本品への關稅引上げ、輸入制限實施の意向は片貿易を理由に反對を表明した我要求を容れ右防遏策施行を中止した

米國がアラスカ方面に

前哨根據地計畫

【ワシントン廿六日發國通】米國陸海軍は今夏相呼應してアラスカへ編隊大飛行を敢行するに決したが過般下院に於いてアラスカ領代表がアラスカ方面に航空根據地設置案を提出した事實あり、米國政府は愈々アラスカに空軍前哨根據地を建設するに決したものと觀られてゐる、既にローパー商務長官は去る六月二十日ワシントン出發、商業網、航空路測量のためと稱してアラスカ方面視察の途に上つたが各般の事情から推して空軍根據地物色のための旅行と解せられる

バーター制强調の

蘭印側公文書

片貿易の苦を語る

【バタビヤ廿六日發國通】蘭印側より日本側に手交された公文書は極めて長文であるがその要旨は左の通りである
一、歐洲各國の不景氣に對應すべくその貿易政策上に大變動を與へバーター制の强行を敢へてし、自國品の販路を確保せんとした結果蘭印貿易はこの新情勢に對應すべき政策を執らざるを得ぬ狀態となつた
二、蘭印市場に於て日本品は逐年他國品と激烈なる競爭を行ひ、飛躍的進出を見た結果、蘭印生產物の供給國たる他の諸外國を驅逐したる事實は前記の如く各國が自國品販路の確保の爲バーター制を施行した關係上蘭印生產物の輸出に大なる影響を及ぼした
三、從つて蘭印政府に於ては自己の存立上所要の絶對策を執らざるを得ざる立場にあるも日本と蘭印との永年の傳統的且つ友好的善隣關係に鑑み實行を延期し、日本に利害關係のある範圍內に於て協議を遂げんとするものである
四、而して先づ第一に日蘭貿易調整に關し兩國間の輸出入貿易狀が遙かに蘭印に不利なる現狀に鑑み、この狀態を調整するため蘭印生產品の日本への輸出增進を必要とするものである

ソ聯北滿から

經濟的退却を開始

極東銀行事業縮少

最近滿洲に於けるソ聯の經濟的實勢力は北鐵賣買交涉の進捗と共に漸次不振狀態となりその現れの一つとして滿洲における唯一のソ聯金融機關たる在哈極東銀行は七月一日を期し行員の大淘汰並びに事業縮少を斷行する意圖を有し整理すべき大部分の行員の俸給も七月一日まで支拂はれ各種保障の下に發給された長期クレジットの總てはソ聯當局及ソ聯國營銀行が特殊の協定を締結せる「ナショナル、シチーバンク」に移讓さるることになつた、右はモスクワ中央部がハルビン並びに在滿極東銀行の著しき收入減と北鐵讓渡問題に關聯してソ聯は北滿における經濟上の見込薄を慮りその政策を轉換するに至つたものとして注目されてゐる

シベリア線

複線工事着々として進捗

ソ聯對日戰備を進む

【北安鎭國通】某處着情報に依ればソ聯が極東兵備の擴充と共に全力を注ぎつつあるシベリア鐵道複線工事は最早ブラゴエスチエンスク、チエルニアエウオリヨシ線分岐點の中央附近まで完成し居り、東部各驛には退避線の工事既に完了したと、尚目下ブラゴエにあるソ聯兵力は最少限度赤衛軍二個師團、農民集團軍一ケ師團、飛行隊一個聯隊其他戰車等相當あるものゝ如し

米海軍機十二機編隊

アリユーシャン群島へ大飛行

【ワシントン廿六日發國通】米國海軍省は今夏陸軍爆擊機十二機のアラスカ訪問飛行に對抗し、海軍機十二臺編隊を以て北洋の軍事的要衝アリユーシャン群島に向け一大飛行を敢行するに決し、廿六日次の如く發表した
來る七月十二日サンデイエゴの海軍根據地からアリユーシャン群島のダツチハーバー迄海軍機十二臺を以て編隊飛行を行ふ、但し途中米國領土內の主要地に數回着水するものである

滿ソ水路會議

對等の立場で臨む

毅然たる滿洲國側の態度

愈々蓋を開けた滿ソ水路會議は廿五日貴滿洲國側委員長、メソ聯側委員長の會見に於て會議場を黑河俱樂部に指定し廿六、廿七の兩日は會議準備に充てる事を申合せ、第一回會議は廿八日午前開催されるに決した、尚一九三〇年ソ聯側と舊政權との間に、水路協定が結ばれ、向後二年每に開催すべく取極められたが、事變以來其儘となり、ソ聯はこれを奇貨とし橫暴を極め來つたもので、滿洲國獨立と共に獨自の立場から水路問題に臨まんとの態度は水路會議開催に至る空氣を急速に進展せしめるに至つた、然して會議に臨む滿洲國の態度は共同利害の上に立脚して正々堂々飽迄對等の立場を保持するものと仄聞する

內閣は延命する？

辭表却下再降下の

御下問に備へ重臣對策を練る

（東京國通）總辭職の際辭表却下、再降下說に關する御下問奉答のため、元老、重臣等目下慎重に對策を練つて居る樣だが、支障無しに實現すれば、內閣は延命するものと觀測される

國民同盟

倒閣國民大會開催を計畫

【東京國通】國民同盟は廿六日午後本部に全体會議を開き廿七日午後一時倒閣運動勢揃の爲、代議士以下支部長等參集、國民大會開催期を決定することゝなつた

齋藤大使

廿六日發歸朝

【ワシントン廿六日發國通】齋藤大使は二十六日午後四時夫人及び令孃同伴でワシントン發歸朝の途に就くが之に先き立ち同大使は二十六日午前十時スワンソン海軍長官を訪問した、右會見で大使は出發の挨拶を述べると同時に海軍問題其の他意見の交換を遂げた、會見後語る
スワンソン長官とは久しい間の知己で今日は舊交を溫め且つ歸國の挨拶に訪問したのだ

全滿工業調查

各機關聯合調查進捗

今年末に綜合集計完了の豫定

昨年末關東軍、關東廳、滿洲國滿鐵諸機關の間に全滿洲に於ける工業調查協定成立し本年一月より各機關は相互に聯絡協調を執り調查を進めてゐたが五月末を以て調查の回收も完了したので來る二十八、二十九の兩日旅順に委員會を開き集計の種類方法につき協議する一方來年度の調查方法につき讓を練ることになつた、尚集計完了は十月末、集計綜合の完了は今年末の豫定であるが完成の曉には權威ある全滿的工業調查資料を提供して各種方策樹立の基礎確立を期し得るものと期待されてゐる

陸軍の國策

完成を待ち關係閣僚と協議

國防の完璧を期す

【東京國通】林陸相は政局の歸趨如何に拘らず、國防を中心とする內外國策を可及的速かに決定し一九三五－六年の危機に對應して準備しなければならぬとして、關係當局をして研究を急がせてゐるが、大体本日中に成案を見るのを待つて、更に本部との間に會議を開き、國策に關する方針を決定する意向である、併し陸相としては此の陸軍の方針を決定するとも、外部に發表する等の事は避け首相或は關係閣僚との間に此の國策遂行に就て協議を進め、其の實現を期する意向であるが、陸軍としては此の非常時に處し速かに國策決定、工作を開始するためにも急速に政局の安定する事を希望してゐる

外蒙庫倫に

ソ聯が綿糸工場

設立計畫

確實なる筋への情報に依れば最近外蒙で勢力を敷殖しつゝあるソ聯邦は外蒙に於ける輕工業の大々的企業を計畫し、その第一步として庫倫に約二千名の從業員を使用する綿糸工場を設立し、近く綿糸の大量生產を行はんとしてゐると右原料は主として西部蒙古に於て棉花の栽培を强制し之が需要に充てると共に更に中華民國の棉花商人と通商し綏遠寧夏に補充原料地を求めんとする趣であるが、一方同地附近一帶の住民は從來唯一の內職とせる綿糸家庭工業をソ聯の機械化に依つて奪はれる事になり彼等の生計に一大暗影を投じてゐる

新京商議々員會開催

日滿互惠關稅問題等附議

新京商工會議所では廿八日午後三時より同所會議室に於て議員會を開き左記事項を附議する筈
一、第三回附屬地實業團體懇談會事項に關する報告の件
二、日滿互惠關稅締結に關する委員會報告の件

讀者の聲

投稿には回答を賴む

當局に敢て一言

大久保生

我輩は過去數回に亘りこの欄に投書をした、だが未だ嘗て一度として當局のお答へに接した事はない、當局（警察、地方事務所、新京驛）は吾々市民の言を全然無視するのか取り合はないのか、或は怠慢のため回答をしないのか、何れにしても攻擊の矢を向けられても亦已むを得まい、吾人は敢ていふ、少くとも眞に新京を愛し、綺麗な街に、住みよい街に、傳染病の排除に、吾等市民の要求を全然容れない、若くは無視する當局があつては絕對に街は向上し、進步し、榮へないと、願くば吾々の投書をよく研究、吟味され、よい提議には贊成實行に移すとゝもに本欄に是非とも御回答せられんことを、而して相共に手を携へ吾等が新京の向上、進步に邁進しやうではないか

孔財政部長

中央と山西の關係改善に奔走

某所入電に依れば南京政府財政部長孔祥熙氏は二十四日北平着、目下北平滯在中である同氏が表面の使命とする所は設關問題及び華北地方財政狀態調查とされてゐるが更に閻錫山を訪問し中央と山西の關係改善を圖るとの說も有力視されてゐる

偶語

きのふ日滿無線電話のテストが、みごと大成功裡に行はれた、それも市內同樣ハッキリ手に取るやうに聞えたといふから、今後この電話の利用がますます盛んになつて來やう▼遙か幾千キロ電波による日滿間の握手が、かくも上々の首尾で成功したことは全く日滿通信界の一大革命であり、文字通り劃期的のものである▼やがてこれが各方面から利用さるれば日滿の關係がいよいよ接近し、唯通信界にのみ止まらず、兩國のために大いに貢獻するものがあらう▼この電話は內地側では六大都市を始め各主要都市にまた滿洲側には新京、奉天、大連、ハルビンにも通ずることになつてゐるから誠に便利である▼暫らくお天氣がつゞくと到るところ黃塵の渦卷は止むを得ないとしても、道路工事が着手したままでいつまで立つても捗らぬのはどうしたことか▼近い例が取引所の前にでも立つて見れば一目瞭然、富士町六丁目かと思ふが宮殿下御來京前には早くも着手されてゐたはずが今以て完成しない▼お蔭で雨の日は文字通り泥濘の巷で、それが他の道路にも影響して、隣の三笠町なども六丁目までゆくと客馬車も動かない位だ▼いろいろ事情もあることであらうが、手につけた限りにはなるべく早く完成して貰はねば通行人の迷惑はこの上もない他にも同じやうな向きがあろうと思ふが、敢て通行人に代つて地方事務所當局者に實地見聞をお願ひする

對濠洲に

商議、無電開設を建議せん

【東京國通】濠洲との電信事務は英國、デンマーク資本より成る東方擴張電信會社の獨占で料金高く不便故商工會議所は昨日協議後近く外務省と遞信省へ無電開設建議と決定した

本年度最初の社員會委員會

あす開催

【大連國通】滿鐵社員會特別委員會は改組案作成以來その活動は休止狀態となつてゐたが再び內面的活動を初め當面の滿鐵諸問題や日滿諸問題を研究する事となり本年度最初の委員會を二十九日午後四時半から開く事となつた

朝鮮の貯藏籾解除に

農林省中止警告

【東京國通】產米饑饉見るに堪えずとして貯藏籾六十萬石の解除を發表した朝鮮總督府に對し、農林省は公約無視として極度に憤慨し解除中止の警告を發する模樣であるが、右は政府の米穀政策不統一を暴露し米價釣上げ解除間近しと豫想される今日日本內地への影響其他より成行は頗る注目されて居る

天氣 南西風驟雨模樣
氣溫 最高三十度八 最低十八度一
日出 前三時五十八分
日入 後七時二十六分
月出 前八時三十九分
月入 前四時三十五分

大成功の日滿無線電話

聽たく〳〵ハッキリ聽いた

『僕ア遠藤ですよ やあ、御機嫌やう！』

きのふ午後總務廳長室にて朗かな通話テスト

日滿を繋ぐ電波による聲の握手、待望の日滿無線電話のテストが二十七日午後一時から國務院總務廳長室で行はれた、こちらは遠藤總務廳長を中心に各新聞通信記者、寫眞班ら詰めかけて、定刻遲しと待ちかまへると、定刻を暫く過ぎたころ廳長室の卓上電話がチリリーンと威勢よく鳴りひゞいて來る、そら來たとその瞬間いづれもピンと緊張、まさに歴史的のシーンだ電話機を受取つた關口秘書官「一寸お待ち下さい」と、かはつて遠藤廳長、ニッコリと電話機を手にすると

「やあ牧野君、僕遠藤です、御機嫌やう、なかなかよく聞えますよ」

相手は牧野遞信次官らしい、如何にも朗かだ、つゞいて

「やああなた堀切さん、僕遠藤ですが、この間はいろいろお骨折を有難う、こちらは至つて元氣ですよ」

「けふは御前會議で來年度豫算が決つたわけだ」

「あゝ岩本君、どうも恐入ります、いづれ來春には東京へ參りますから…」

堀切さんはいふまでもなく內閣書記官長、岩本氏は司法參與官の岩本武助氏である、相手は入代り、立ち代り黒崎法制局長官、松村商工參與官、木村拓務參與官といづれも政務官揃ひだ、かくて最後に再ひ牧野遞信次官が現れて

廳長「天氣もよくてすべてが可なりだ、實によく聞えたよ、大臣始め皆さんに宜しく」

この間十五分、近くにゐると受話機に響く音さへも聞える明瞭さで、この記念すべく意義ある試驗通話はみごと大成功裡に終つたのである

市內電話同様 ちつとも變りがない

遠藤總務廳長語る

試驗通話を終つた遠藤總務廳長は例の溫顏に微笑を浮べホッとした面持で左の如く語つた

全く市內電話と少しも變りがない、全く大成功だよ、先方は政務官の諸君が待ちかまへて入り代り立ち代りだ、此方は一人で、木村參與官だつたが「こちらは總てが賑々しい、浪人になつたらゆつくり遊びにゆくよ」といつて笑つてゐた、何にしろ雜音といつてちつともなく全く市內電話で話すのと變りがないのだから便利なことだ、いづれ實施のうへは各方面の利用に役立つであらう

本式開通は未だ見當がつかぬ

滿洲日本內地間の無電中繼による電話の開通は七月一日からの豫定で新京無電台では四月末準備を終り中央電話局の交換台も五月末東京から無線電話專門の交換手三名を雇ひ又秘密通話機の設備も完了して開通の日をまつてゐるが日本側の設備が未だ完備しないため今のところ何時開通するか豫測出來ない模樣である

通話の經路

佐々木無電所長語る

別項の如く二十七日滿洲國々務院と東京遞信省との間に無線電話の試驗通話が行はれたがこの無電中繼により日本と滿洲との電話通話の經路について佐々木新京無電工務所長は語る

今日の通話を例にとりますと先づ國務院から新京中央電話局交換台までは普通の有線で來てそこで有線無線の接續裝置並に秘密通話裝置を通り寬城子の送信所まではで中央電話局からケーブルを通つてくることになつてをります、これに對し寬城子無電台が無線電話送信機を働かせると東京方面に指向性をもつてゐるアンテナから電波となつて東京國際電話株式會社埼玉縣小室受信所の對滿受信機に感應しそこから遞信省の東京中央電話局の交換台にケーブルで接續しこゝから有線で遞信省の電話に通ずることとなつてをります、日本から滿洲への通話は名崎の送信所を通じ孟家屯の受信所に同樣な經路で入り通話することゝなつてをります

日滿軍將校 親睦野遊會

三十日午後四時半から西公園海軍記念碑前で日滿兩國軍將校親睦野遊會を催す、出席者は菱刈司令官、張軍政部大臣を始め日本側約二百名、滿洲側約二百名位の豫定

三橋警部旅順へ

關東廳、滿洲國、滿鐵經濟調查會、關東軍の四機關協定に基く工業調查委員會は二十九兩日旅順で開催されるので同會議に新京署三橋警部は出席のため二十七日午後四時三十分新京發列車で出張した

天理教管長 外語校長等 七月中旬來滿

天理教管長中山正善並に天理外國語學校長山澤種治兩氏一行十名は約五十日の豫定を以て臺灣、南支に於る天理教の布教狀況並にハルビン郊外に目下設立準備中の天理村の實地調查のため六月十八日天理教會發基隆、香港、上海、廣東を經て七月中旬頃來滿の豫定である

軍人出身日系官吏 減俸に反對猛運動

決議文を作成政府に迫らん 成行頗る重視さる

滿洲國給與令の改正は二十七日開會の臨時國務院會議で政府提出の原案通り大体通過をみた模樣であるがこの改正によると日本の官廳から轉任した文官を最も厚遇して滿洲國に最も功績のあつた在鄉軍人關係の待遇はきはめて冷然たるものがあるとの內情を知つた在鄉軍人出身の日人官吏、殊に在京〇〇〇〇分會はことの以外に重大なるに驚き廿六日、二十七日の兩日新京市內の某所に集合して鳩首これが對策を協議し既に決議文も作成してゐる模樣であるが、次第によつては在京日人官吏中在鄉軍人關係者を中心として在滿各地の分會に檄を飛ばし全滿在鄉軍人の奮起を促して給與令改正の反對猛運動を起すべき險惡なる空氣にあり各方面から重大視されてゐる

最近の氷の消費量 一日に五千貫

氷の商賣人も昨年の二倍

けふこの頃の新京の氣溫はぐんぐんと昇り舖裝道路はとろけて全くの眞夏に襲はれた、この暑さを目當に營業を始め內固定商百三十件行商百件で昨年の許可數に比すると倍し係員を驚かしてゐる、これ等の人々の手で賣り捌かれる氷はこの數日間、平均數量が五千貫に達し、新京製氷所は大當で製氷、配達ともに大車輪の有樣である

鐵道省柔道部 今朝來京

二十八日午前七時來京した全日本鐵道省柔道遠征軍を迎へた新京体育聯盟柔道部では五段以下二十八名の豪雄の中から選拔して同日午後四時から新京商業學校道場で試合を行ふ

た永雪行商者が許可願を續々と新京署に願出てゐる、二十六日迄に許可されたものが固定、行商の合計二百三十件、

青年訓練所 創立記念日に 實彈射擊

昭和二年七月一日創立した新京青年訓練所では來る一日が七周年記念日に相當するので當日は創立記念行事として午前七時から新京射擊場で實包射擊を行ふ、參加生徒數は七十餘名、一名三發づゝ、なほ一般市民、同所後援會員の參觀を歡迎すると

ダイヤ改正打合 高橋旅客主任出席

來るべき十月一日から實施される滿鐵の驚異的ダイヤ改正に鐵道部において第一、二、三、四、五案まで練り上げられたが、いよいよ最後的決定をするため二十八日鐵道部では各鐵道事務所から數名の代表者を集め旅客列車關係打合せ會を開く、新京鐵道事務所からは營業係旅客主任高橋勳一氏を二十七日午後四時三十分發出席させた

內地の空梅雨に刺戟され 米價ヂリ高

なほ多少先高見越し

本年の滿洲は入梅に先だちて南北各地共雨量が多く隨處に豪雨の被害が醸されてゐるに反し日本內地では空梅雨を織込んだ故もあらうが米價が騰り政府の米穀統制法案の利目を如實に現はし政府買上米の拂下說さへ擡頭してゐるとの報があるが、新京でも昨今市中の米價が昂騰し下宿屋とか賄屋などがしきりにこぼしてゐる、米を扱ふ新京の老舖西村洋行でたづねてみたところ今年一月頃三斗入一叺七圓くらゐだつたすし米が現在八圓特等米の六圓五十錢が七圓五十錢一等米の六圓が七圓二、三十錢といふやうに約一圓の値上りになつてゐるが、去年の今頃も略同樣の値を示した原因は端境期の品薄に因るもので前年の例にみてもまだ多少の値上りを見るであらうと

大連埠頭にコレラ發生か

福昌公司苦力死亡

【大連國通】二十六日午後三時頃大連埠頭構內に於いて荷役作業の福昌華工公司苦力劉長賢（二六）は突然苦悶を始め、數回に亙つて吐瀉しコレラ症狀を呈しつつ寺兒溝碧山莊苦力收容所に歸り二十七日午前二時二十分遂に死亡した報告に接し大連海務局檢疫課は俄然緊張、碧山莊一帶の交通を遮斷して大消毒をなすと共に日下患者の大便菌を培養研究中で廿七日午後四時迄には何れとも判明の筈である

日本軍襲擊の兄弟匪逮捕

【奉天國通】大同元年十月日本軍騎兵〇〇名が遼陽より三角地帶經由安奉線橋頭に向ふ途中大安平附近で大行李を襲擊、高橋特務曹長以下數名の戰死者を出した事件の兄弟匪賊馮顯學（兄）馮顯義（弟）はその後再起を企圖し遼陽附近に於いて舊部下四十名を糾合、潛伏中なるを遼陽縣警察隊が探知しこれを包圍遂に逮捕した

興京方面の匪襲で 指導官以下死傷

【奉天國通】興京西方約三〇キロ四道溝に二十六日午後二時鮮匪二十餘名襲擊し來り同地警察隊と交戰二時間の後擊退されたが、本戰鬪に於いて飯田指導官以下警察隊員四名及び日本人運轉手一名重傷を負つたが同五時に至り運轉手は遂に絕命した、飯田指導官は二十六日午後七時永陵街に引揚げ手當を加へ廿七日午前五時奉天に向つた、急報に接し興京縣城より派遣された警察大隊長以下一名及び領警署長以下七名は出動の途中二十六日午後六時四道溝北方で右匪團に遭遇約三十分間交戰の後之を擊退した、又淸源より出動した同地駐屯の〇〇隊四十名は二十七日午前四時木奇東方で匪團百名と遭遇目下交戰中である

防空協會チチハル支部 戰鬪機一臺獻納を議決

【チチハル國通】去る五月中旬發會式を擧げた滿洲防空協會チチハル支部に於ては二十六日午後二時より市公署會議室に於て第一回理事會を開催戰鬪機一臺を獻納することに決定、近く寄附金の募集に着手する筈である

親知らずが左眼下頰に生え出た珍事

【岡山國通】岡山縣倉敷市の山瀨靜子さん（二二）は數ヶ月前から鼻がつまつてゐたが診斷の結果下に生え出るべき親知らずが頰の中に伸びて左眼の枠底に頭を出してゐたこと判明、手術で拔き取つたがこんなことは世界文獻にも例がない

寫眞は遠藤廳長と牧野次官

學校通信

公學校体育週間

公學校では二十五日から一週間を体育週間として同週間中左の行事を行ふ

第二回（廿五日ヨリ）

ラヂオ体操　賑足

月　高一對高二　排球、初二体力測定

火　初四對高一（男十四才以下十名）リレー初三体力測定

水　高二對日事　排球、初四体力測定

木　職員對選手　排球　高一体力測定

金　初四對高一（女十三歲以下一名）リレー

土　高二体力測定

第二回小体育會

月、水　女子デッドボール試合

第二回　小体育會（土）

ラヂオ体操　全員　西本

源平球入れ　初一女　王常陶

大球送り　初一男　同上

ダブルデットボール　初三四女　後藤西本

球運ビ　初二女　張會、曲

俵奪ヒ　初二男　張會、王

追入レボール　初三男　張有、常

騎馬戰　初四男　西本後藤

突擊戰　高二男　松下宮永

バスケットボール　高女　後藤

大將球受　日事　植松山本

陸　戰　高一男　横川西本

ラジオ体操　全員　西本

萬訓導大連へ

公學校萬訓導は滿鐵教科書編輯部へ出張のため二十六日大連へ向つた

張訓導熊岳城へ

公學校張訓導は熊岳城公學校で開催中の圖書科研究會へ出席した

西本訓導奉天へ

公學校の西本訓導は二十八日奉天教育研究所で開催される体育研究會に出席する

室町校學藝會

室町小學校では二十八日高學年の學藝會を行ふ

商業實彈射擊成績

新京商業學校では二十七日午前九時から新京射擊場で昭和九年度第一回實包射擊を行つた、參加者は四、五年生百四十六名、一名三發づゝで三十點滿點で總員の得點一平均は三、七點弱、そのうち優秀な者は

▲五年乙組赤間利雄二十七點▲五年乙組山田豐作二十五點▲五年乙組小山田滿男二十五點▲四年甲組白石光則二十五點▲五年乙組大塚林二二十三點▲五年甲組田中亮太郎二十一點▲五年乙組綿鍋六次郎二十一點▲四年乙組尾島元紀二十一點

神明高女同窓會

大連神明高等女學校同窓會新京支部では七月一日（日曜日）午前十時から白菊町會館で例會を開く、住所不明のため通知洩れのものがあるから會員はお互ひ誘ひ合つて來會されたいと、當日は辨當、茶菓、撮影の用意もある、會費は一圓五十錢

大連滿電野球チーム 廿八九兩日對戰

來征中の大連滿電野球チームを迎へて對滿洲國戰は二十八日午後四時、對全新京戰は二十九日午後四時から西公園グランドで行はれる

滿鐵運動會支部 柔道部協議

滿鐵運動會新京支部の柔道部では二十七日午前十時から益濟寮中食堂で幹事會を開き左記事項を協議した

一、二十八日から向後練習開始の件（毎日午後四時から商業學校道場で）

一、柔道衣購入の件（差し當り十八着）

一、吉林へ遠征の件（七月十四日頃大部隊を編成して）

一、奉天で七月二十九日に開かれる演武大會に新京滿鐵から出場の件（一チーム）

帝大全勝 對大同俱樂部硬式庭球

大同俱樂部主催東京帝大對大同俱樂部硬式庭球戰は二十七日午後一時から西廣場前コートで行はれたが成績は左の如く帝大全勝した

ダブルス

○（有岡 加藤）帝大　六―〇 六―二　大同（馬 商）

○（林 大久保）帝大　六―〇 六―二　（李 白）

シングルス

○牛谷　帝大　六―〇 六―〇　大同　馮

○加藤　六―二 六―二　林田

全英庭球選手權大會 山岸のみ勝つ

【ウインブルドン廿六日發國通】全英庭球選手權大會二十六日のシングルス第二回戰に於て山岸選手はフランスのルスール選手をストレートで破つた、三木、西村、藤倉の三選手は共に二回戰で惜敗した結果左の如し

山岸（日）　六―一 六―二 六―三　（〇）ルスール（佛）

ターンブル（濠）（三）　六―三 六―一 八―六　（〇）三木

シパ（チェッコ）（三）　四―六 八―六 二―六 九―七　（二）西村

シャープ（英）（三）　六―四 三―六 一―六 七―五 六―四　（二）藤倉

因みに山岸選手の破つたルスール選手はフランスに於けるランキング第五位の選手である

▲脇本多喜三氏（白菊町三丁目十九號ノ三）長男昌樹さん十七日出生

▲秋吉勝太郎氏（入船町四丁目十五番地ノ二）四女久子さん十三日出生

▲板野高明氏（曙町二丁目十四番地ノ三）三女良子さん十七日出生

▲嘉村滿雄氏（梅ヶ枝町三丁目十番地ノ三）長男剛さん二十日出生

▲炭竈捨吉氏（朝日通り四十七番地ノ二）次男和義さん十七日出生

新京區公示第十一號

狂犬病豫防週間中畜犬放飼禁止ニ關シ新京警察署長ヨリ左記ノ通告示アリタルニ付畜犬飼育者ハ畜犬ノ放飼ヲ禁止セラレタシ

昭和九年六月二十七日

南滿洲鐵道株式會社 新京地方事務所長 荒木

新京警察署告示第七號

狂犬病豫防ノ爲メ畜犬取締規則第十四條ニ依リ七月一日ヨリ同月七日迄畜犬ノ放飼ヲ禁止ス

昭和九年六月二十三日

新京警察署長 高山勝司

譯文

新京警察署告示第七號

爲佈告事照得自七月一日至同月七日止期間據畜犬取締規則第十四條爲豫防風狗起見一律不準將畜犬（所養之狗）散在外勿違此佈

昭和九年六月二十三日

新京警察署長 高山勝司

新京區公示第十號

狂犬病豫防注射施行ニ關シ新京警察署長ヨリ左記ノ通告示アリタルニ付畜犬飼育者ハ畜犬ニ對シ注射ヲ受ケラレタシ

昭和九年六月二十七日

南滿洲鐵道株式會社 新京地方事務所長 荒木章

新京警察署告示第八號

來ル七月二日ヨリ同月五日迄左記ニ依リ狂犬病豫防注射ヲ施行ス畜犬飼育者ハ指定ノ日時場所ニ注射ヲ受ケシムヘシ

昭和九年六月二十三日

新京警察署長 高山勝司

記

一、施行日時　自七月二日 至七月五日　五日間　毎日 自午後一時 至午後三時

一、施行區域　新京附屬地一圓ノ中曩ニ施行シタル狂犬病豫防注射未濟ノモノ

一、施行場所　新京消防隊

以上

譯文

新京警察署告示第八號

爲佈告事照得左開於自七月二日至同月五日止期間一律施行豫防狂狗之日期均須赴該處而注射勿違此佈

昭和九年六月二十三日

新京警察署長 高山勝司

計開

一、注射日期　自七月二日 至七月五日　四日間　毎日 自午後一時 至午後三時

一、施行區域　新京附屬地一帶之區域內未受注射者但除經前次施行豫防狂狗之注射者

一、施行場所　新京消防隊

以上

學校だより

室町小學校

秩父宮殿下をお迎へ申上げて

尋六　津澤正己

我々が指折り數へて御待申上げてゐた秩父宮殿下は去る六日午後六時晴の御入京になつてから、先づ滿洲國皇帝へ我が今上陛下の御親書並勳章を御差上げになりました。其の後は我々兒童の御賜謁を始め國都建設の模樣を御覽遊ばしたり、運動會へお成になつたり本當に一寸のお休もなく日滿親善の爲にお盡しになりました、我々はこのお情け深い宮殿下をお迎へ申上たことを心から大へん喜こんだのです

思ひだしますと四年前陸軍大學の生徒として我が室町校へお成になつた時僕は未だ二年生であつたが幸にもせいが小さかつたので列の一番前で宮樣のお顔を拜したことがあります、今僕の頭にはその時のことがちやんと殘つてゐます今新校舍の前の記念樹は此の時の記念であります、僕は級を代表して砂をかけたことをおぼへてゐます

この度は天皇陛下の御名代として滿洲國の帝政をお喜びになり、ますます日滿の國交が親密になるように御渡滿なされたのです、宮殿下には十三日午前八時三十分國都新京を御つつがなくお立になりました、僕等はそのことを心からお喜び申上げてゐます

秩父宮殿下

年　稻木恒子

眞晝の太陽はじりじりと照りつけるが、幾千の拜謁者をぎつしり包んだ場內は水を打つたやうに靜かである、細塵を掃ひのけて、爽やかに色どつた新綠の蔭、紅白の幕も又私達の心を緊張させ、まるで神域にたつ心地を起させ、日の御子秩父宮殿下のお前に謹みて拜する、この歷史的な感激にひたる私達の氣持はいやが上にも清みわたる

「氣をつけ」の號令と共に私達の眼は一齊に殿下の方に、お注ぎ申上る、しゆくしゆくと步を運ばせ給ふ御姿、やがて白むくの壇にお立ち遊ばされた殿下の御英姿「最敬禮」の號令を待たず自ら頭が下る折から響く「君ケ代」のラッパ場內はいやが上にも靜まりかへる

幸あれ々々々幸あれ々々々
秩父宮に

私達は高なる胸の思をそのまゝまるで夢中に歌ひ終つた再ひ最敬禮の後、殿下は靜かに流れ入つた自動車の中にお入りになつた、私達は御召自動車の見えなくなつた後までもそのまま頭をむけ續けてゐた

チチブノミヤサマ

尋一　オクノミチヲ

チチブノミヤサマガオイデニナリマシタ、ボクハアリガタイトオモヒマシタ、ソレデボクハオトウサンノイウコトヲヨクキキマス、オカアサンノイウコトモヨクキキマス、ボクハオホキクナツタラバヘイタイサンニナリマス、ソレデボクハエライヒトニナロウトオモヒマス

チチブノミヤサマ

尋一　太田トシ子

トホイニッポンカラチチブノミヤサマガオイデニナリマシタノデマチハタイヘンニギヤカデシタ、ヨルハオカアサントニシコウエンニチヤウチンギヨウレツヲミニユキマシタ。アカヤ、アヲノハナビガポンポンアガツテキレイデゴザイマシタ

蜂蜜頂子の協和農場の概要（四）

滿洲國協和會吉林事務局經營

計畫

一、第一年計畫　今年に於いては農期遲れ小作人の募集難農作資金の融通難、其他萬般の準備の不備なりし爲僅に之が計畫着手に過ぎず（既貸付農作資金國幣一百四十二元四角六分）然れ共別章に示す通り廿八名の移住者を得　五〇天地の植付を了す

二、第二年計畫　明年度に於いては今年の成績々經驗を徵し農作資金の融通、滿鮮農の移住及ひ之の訓練に善處する一方吉林地方事務局の指導下に日滿各機關、縣內各界の援助を求め蜂密頂子平野の全部を開墾す

三、第三年以後の計畫　第三年以後は蜂密頂子農場の成績及經驗に依り全縣水田開墾事業の計畫並に其他產業の振興を謀る

三、現況の概要

柳榮樂、平山仲秀、吳鐵民三連絡員は樺甸辦事處開設以來四、五ヶ月の間本會の綱領に基く經濟政策の實行を計る可く農政の振興產業の興隆に寄與する爲め水田開墾に關し日々協議を重ね一方縣內各種產業及水田耕地狀況を調査せり而して縣內水田可耕地約一萬天地內外にして就中第二區蜂密頂子平野は最も良好適當なる地なり、故に先づ該地の大地主前農會長聯陳芳、現農會長寧品三（以上二名は南關農界分會評議員なり）諸氏と協議し三月廿日柳、吳兩連絡員を派し現地の狀況を調査、歸來後連絡會議を開催「今年度蜂密頂子に於ける水田開墾事項」を決定以後一方に於き地主と借地契約を締結し滿鮮人水田耕作農民移住者を募集する傍ら縣公署、縣參事官及警務指導官等に以上の實施に關する諒解及ひ保護、助成方を請願し、改めて「農民保護警察隊特派」の件を請願し四月廿一日平山、柳の兩連絡員は水田耕作農民十四戸廿六名を引率現地に至り之を移住せしめ且つ安田參事官の許可を以て警察隊廿一名特派され同地住民の保護に任ぜり、從事する鮮農は地主より農耕地及農作種子の分給方を受け開墾に着手す、其後移住者漸增し現在にては二十餘戸に及べり今年度耕地面積約五、六十晌なり（晌は天地と同面積とす）

農民數	耕地面積	一晌に對する收穫豫想高	總收穫豫想高	白米一石に對する秋季價格	總價
男女計　三六	五〇晌	白米八石	白米四〇〇石	國幣一五元	六、〇〇〇

但、男一人一年耕作面積は二晌、女一人は一晌とす

四、移住農民戸數

文藝

詩

敗殘

漣閃之助

我が想ひ常に唐人の寢言の如く
我が步み常に醉漢の亂步の如し—
我、力なきを我知る故に
止めど湧くペーソスは
我が欣ひを時に碎き
我が憧れを時に消す
あゝされどいとしきは我が心なり
幻の寢言をいまだに愛す

こんな詩を日記の隅つこになぐりつけては嬉しがつてゐた
その頃の自分を可愛ゆく思ふ
そして剛情な坊ちやんの樣に影のうすい力のない自分の（寢言亂步）を愛しつゞけて來た「可愛さ」に頰ずりしてやり度い程の、なつかしさを覺える
「地上」の大河平八郎や赤倉清造等に、限りない憧れを抱いて十七少年の淡い、潔い、幻を育てゝゐたあの頃—

それから丸一年半經つた今では何を憶ひ何を望んでゐる？
淚の樣な甘さと、辛さのカクテールされた啄木の歌に詩に
少年の抱いてゐた夢は
變色する印畫紙の書面の樣に
今ではかすかな遠い非現實的なものになつてしまつた
少年の色の心臟でコーラスしてゐた「はたらけどはたらけどなほ」の歌が今本當にじつと手をみつめさせる
抱きしめてゐたあの頃の書籍が、聖書や、數學に變つてゐる今の自分を、眺め直すと尙可愛ゆくなつてくる
「君は敗殘だ々々々と言ふけれど君が君を標準にしての社會でなしに社會をそれにした君の姿をしつかり摑んだのだとも言へるだろう」と南國古灣の友は言つて寄越した
今は自分もさう思ふのが常になつてしまつた、黃色い印畫への思ひ出
敗殘の自分を可愛ゆく思ふ

デパートの少女

王寺芳夫

あゝ今宵もまた
綠色の仕事着を肌につけたる少女は
アルルの女を口ずさみつゝ
明るき夢を少さき心にいだきしめ
夜の街を步く
だが？
街はしかし
昨日と云ふ日の戾つて來ない
明日と云ふ日のひつくり返つた
哀愁の汎濫する悲しい人の世の姿なのだ
目に見えない人生の波止場で
幸福の唄を口ずさむ
綠色の少女よ
今に—
生きる事のくち惜しくなる時が來たなら
じつと唇をかみしめて
アルルの女を口ずさめ
あゝ夢多き綠色の少女よ

コドモマンガ

(1)「ソレハアリガタイ、ソノクセモノハトテモツヨイアルザムライデコマツテキルトコロダカラソレデハ、アナタノケントウデ、タイヂテモライタイ」トイヘレ、ポンキチハ「コマツタナー」トトオモツタガモウイニアハナイ「アナタハフルエテキマスネ」ナアニコレハムシヤブルキサ」

(2) トリテトイツシヨニ、クセモノヲタヅネテ四ホウチカケマハツタガ、ナカ／＼ミツカラナイ、セナカニシヨツタグローブガオモタクテカタガメリコミサウダ、ソノウチマエニブラサゲタ、ヒヨウロウガアシニカランデ、ポンキチハスツテンコロリト、ホオリダサレテ「オツトケンノン」

ラヂオ欄

廿八日（木曜）新京

時刻	番組
前　六、〇〇	ラヂオ体操（東京ヨリ）
同　八、〇五	經濟市況（東京ヨリ）
同一〇、三〇	ニュース
同一〇、四〇	經濟市況（東京ヨリ）
同一〇、五九	時報レコード（滿語）
同一一、三〇	ニュース（滿語）
同一一、四〇	ニュース經濟市況（東京ヨリ）
後　〇、〇五	經濟市況（奉天ヨリ日滿語）
同　〇、三〇	演藝
同　一、〇〇	レコード（滿）演藝（滿語）
同　二、五〇	經濟市況　ニュース（東京ヨリ）
同　三、二〇	ニュース（日滿兩語）
同　三、三〇	經濟市況（奉天ヨリ日滿語）
同　四、三〇	ニュース（滿語）
同　四、四〇	ニュース（鮮語）
同　四、五〇	ニュース（英語）
同　五、〇〇	子供の時間
自後五、三〇 至後七、〇〇	關西相撲協會大角力實況（奉天より中繼）
同　七、〇〇	連續講談（東京より）神田伯龍　赤尾の林藏（第二席）
同　七、三〇	東西寄席めぐり（東京より）＝東京牛込區神樂坂演藝場より中繼＝　一、掛取早慶戰　春風亭柳橋　二、乘物漫談　柳家金語樓　三、未定　四、源平盛衰記　林家正藏
同　八、三〇	時報　ニュース（東京より）
同　八、四五	ニュース　氣象豫報　プロ豫告
同　九、〇〇	演藝（滿）引續きニュース氣象豫報プロ豫告（滿）

日本の聖女

（上演上映）　生田葵　原作　邸　闘　本　章

一四〇

蹴上茶屋の亂鬪（三）

醉つて居るとは云へ、見識のない無禮な言葉であつた。

お定はちつと吉兵衛と眼を見合し、ためらひ氣味の容子を見せたが吉兵衛が目くばせーて、あごをしやくり、行けと命じたので、お定は、食事の箸をおいて立上つていつた。

『なにをなされます。そのやうな、ご無體なことを爲されては困ります』

お定は下駄を直してやつた武士から、いたづらをされてゐるらしく、救助を呼ぶに似た悲鳴を擧げた。

『あはゝゝゝ、なにをそんなにヒク／＼いたす、此女風體こそは田舍女ではあるが、顔は、垢拔けした上々玉の年增、なんと、諸

此女にお酌をさそうではござらぬか』

醉ひどれた聲で興じるのが聞かれた。

それでも數之丞は其方をふりかへらなかつたが、流石に吉兵衛は氣になると見え、顔をお定のゐる方へ向けた。

『なに、上々玉の年增女それは白い、前川氏の發足の宴に百姓の別嬪のお酌は、後代迄の語りぐさぢや、その女上へあがれ』

座敷にゐる他の武士が同じ足音を亂し、お定の方へ寄つて行くのが、依然として、其方へ背を向けてゐる、數之丞の耳に揃らへられた。

『あれ／＼其やうな、ご無體なこと、吉兵衛どん／＼』

お定一人ではなんとしても防ぎがつき兼ねたらしく吉兵衛へと救ひをもとむる聲が續いて數之丞の耳に這入つて來た。

吉兵衛は舌打ち一つすると、其方へと立つて往つた。

の町へ急いで歸らねばなりませぬ、なに卒放してやつて下さりませ、お酌なら此家にたんと外にゐるではござりませぬか』

吉兵衛は、お定の手を取つて放さぬばかりか、抱へて、座敷へ連れて行かうとする、武士の手を抑へた。

『こりやなにをする。邪魔立てするときかぬぞ』

お定を座敷へ無理無體に引張り上げようとする手を押へられたよひどれ武士は、吉兵衛の云ふ言葉などてんで耳に入らぬらしく喰つてかゝつて來た。

『綺麗の通り草鞋ばきのまゝで居ります田舍女、お酌する作法とても存じ居りませねばおゆるし下さいませ』

吉兵衛は重ねて下手に出でいんぎんなものゝ云ひやうはしたが、押へた武士の手は放さなかつた。

『已れにくい奴、亭主のある女であらうがなんであらうが、武士の一旦云ひ出した言葉が後へ引けると思ふか、田舍女に拙者らの酌を爲すのは有難いことだと思つて引き下つて居れ』

よひどれ武士はさう云つて、なほもしつッこくお定にからんで座敷へ引きずり上げやうとした。

吉兵衛は手出しやうとしたのではなかつたが、眼前にお定が困惑し切つてゐる容子を見てはもう我慢が出來ず、なるともなしによひどれ武士の手を押さへてゐた自分の手のひらに自然と力が加はつていつた。

『あいたゝゝゝ……、已れ下司の分際で武士に手向ひいたしたな、もう勘辨ならぬ』

よひどれ武士はお定を前方へ突き放し、吉兵衛が押さへてゐた手を振りはなすと、其まま高く差し上げ、吉兵衛の顔を目がけて打ち下して來た。

貸借對照表（昭和九年三月卅一日現在）

資產之部

科目	金額（圓）
未拂込株金	七五〇、〇〇〇、〇〇
船舶	一、五〇一、六九一、〇〇
什器	九、〇〇
銀行預金	四、一三八、四三
合計	二、二五五、八四八、四三

負債之部

科目	金額（圓）
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
得意先	三〇五、四四九、一七
借入金	九四〇、五〇〇、〇〇
前期繰越金	一、八六三、五八
利益金	八、〇三五、六八
合計	二、二五五、八四八、四三

昭和九年五月
神戶市神戶區榮町通二丁目四七
滿洲海陸運送株式會社

648